

特殊車両オンライン申請システム インストールマニュアル

申請者用

Ver.2008-3

国土交通省

< 目 次 >

1	はじめに.....	1
2	用意するパソコン・プリンタ	2
2-1	パソコン	2
2-2	著作権.....	2
2-3	プリンター.....	2
3	WWWブラウザの確認	3
4	必ずはじめにお読みください	3
5	インストール手順.....	3
6	環境設定CD-ROM によるインストール.....	5
6-1	環境設定用CD-ROM のセット.....	5
6-2	オンライン申請システムセットアップメニュー構成	7
6-2-1.	必ずはじめにお読みください.....	7
6-2-2.	オンライン申請を行う方.....	14
6-3	各インストーラの実行手順について	16
6-3-1	オンライン申請支援システムインストーラの実行.....	16
6-3-2.	Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 インストーラの実行.....	19
6-3-3.	自己署名証明書の取得.....	23
6-3-4.	Java の設定.....	30
6-3-5.	申請データ送信アプリケーションのインストール.....	35
7	INTERNET EXPLORER 利用時の設定	42
7-1	INTERNET EXPLORER の起動.....	42
7-2	HTTP1.1 の設定の変更	43
7-3	JAVA2 RUNTIME EDITION の設定.....	44
8	システムの起動.....	46
8-1	各種マニュアルについて	46
8-2	申請データの作成を行う方.....	46
8-3	オンライン申請を行う方.....	46
9	アンインストール (プログラムの削除)	48
9-1	申請支援システムのアンインストール.....	48
9-2	申請データ送信アプリケーションのアンインストール.....	50
9-3	JAVA2 RUNTIME EDITION のアンインストール	52
10	問い合わせ先	58

1 はじめに

本資料は、特殊車両オンラインシステムにおけるパソコン環境の設定方法を記述したものです。環境設定は、以下の順序で作業を行います。但し、ご利用のコンピュータの環境及び使用目的によって、若干の相違があります。詳しくは「5 インストール手順」をご覧ください。

◆はじめてご利用される方へ

申請方法によらず以下の準備をします

- ステップ1 : パソコンの用意
- ステップ2 : WWW ブラウザの確認
- ステップ3 : インターネット利用環境の確認
- ステップ4 : 必ずはじめにお読みください
- ステップ5 : オンライン申請支援システム環境設定インストール
- ステップ6 : Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 のインストール
- ステップ7 : 自己署名証明書の取得
- ステップ8 : Internet Explorer 利用時の設定

オンライン申請の場合、インターネット FD 申請の場合、CD-ROM 版で作成した申請データの再利用を行う方の場合、CD-ROM 版で作成したデータをオンライン申請に読み込ませる場合、いずれの場合も「オンライン申請を行う方の場合」と同じ環境設定方法にてご利用ください。

◆以前から利用されている方へ

旧バージョンの環境設定プログラム及び CD-ROM をインストールしている場合は、以下のように旧バージョンをアンインストールしてください。

- ステップ0 : 申請支援システムのアンインストール (本書 9-1 参照)
: 申請データ送信アプリケーションのアンインストール (本書 9-2)
: Java2 Runtime Edition のアンインストール (本書 9-3)
(Java Runtime Edition1.4.2_03、1.4.2_08 及び 1.4.2_15)
(Java Runtime Edition1.3.1_10 及び 1.3.1_16)
以下、はじめてのご利用の方と同様な手順です
- ステップ5 : オンライン申請支援システム環境設定インストール
- ステップ6 : Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 のインストール
- ステップ7 : 自己署名証明書の取得
- ステップ8 : Internet Explorer 利用時の設定

2 用意するパソコン・プリンタ

2-1 パソコン

システムを利用するにあたり、クライアントパソコンに最低限必要とする要件（仕様）を示します。基本的には、以下のような要件を満たしていることが必要です。

日本語仕様の Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、もしくは Microsoft Windows Vista がインストールされており、Windows が利用可能な状態となっていること。インターネットが利用可能であり、Microsoft Internet Explorer 6.0、7.0 代の WWW ブラウザソフトがインストールされていること。

※詳細については、P.7「(1) お使いになるパソコン環境の確認」をお読みください。

2-2 著作権

本ソフトウェアの著作権は、国土交通省が保有しており、日本及びその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。本ソフトウェアには、国土交通省に対するライセンス供与者が権利を保有するソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアはシステム利用者に対し、本使用許諾書に従い、非独占的に使用許諾されるもので、本ソフトウェアの著作権が譲渡されることはありません。

2-3 プリンター

A4 サイズの用紙が給紙可能なモノクロまたは、カラープリンターが必要です。

3 WWW ブラウザの確認

特殊車両オンラインシステムを利用するためには、WWW ブラウザが必要です。

- ・ Microsoft Internet Explorer 6.0、7.0

上記ブラウザがインストールされていない場合、インストールを行ってください。

※Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。

※Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

※本システムは、Apache Software Foundation により開発されたソフトウェアを含んでいます。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)

4 必ずはじめにお読みください

ここでは、特殊車両オンラインシステムをインストールする前に確認していただく事項及び、オンライン申請支援システムの関連情報が記載されています。

特殊車両オンラインシステムをご利用になる方は、

PRサイト：<http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/>

のお知らせ事項を必ずご覧ください。

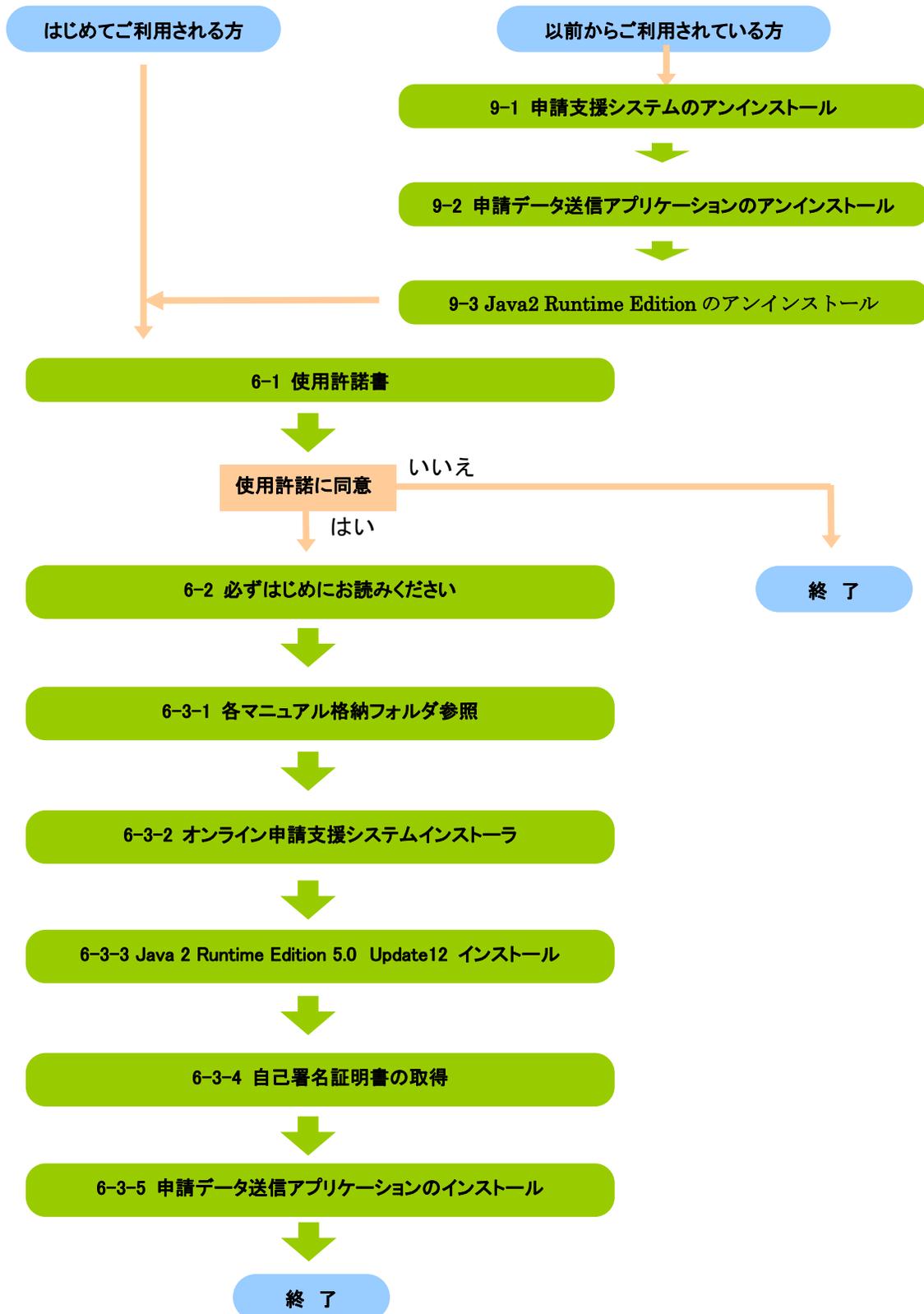
5 インストール手順

インストールの手順は、ご利用のコンピュータの環境及び使用目的によって異なります。詳細は後述のインストールの詳細手順を参照ください。

- オンライン申請を行う方の場合
- インターネット FD 申請を行う方の場合
- CD-ROM 版で作成した申請データの再利用を行う方の場合
- CD-ROM 版で作成したデータオンライン申請に読み込ませる場合

上記いずれの場合も、[オンライン申請を行う方の場合]の方法で環境設定をしてください。

[オンライン申請を行う方の場合]



6 環境設定 CD-ROM によるインストール

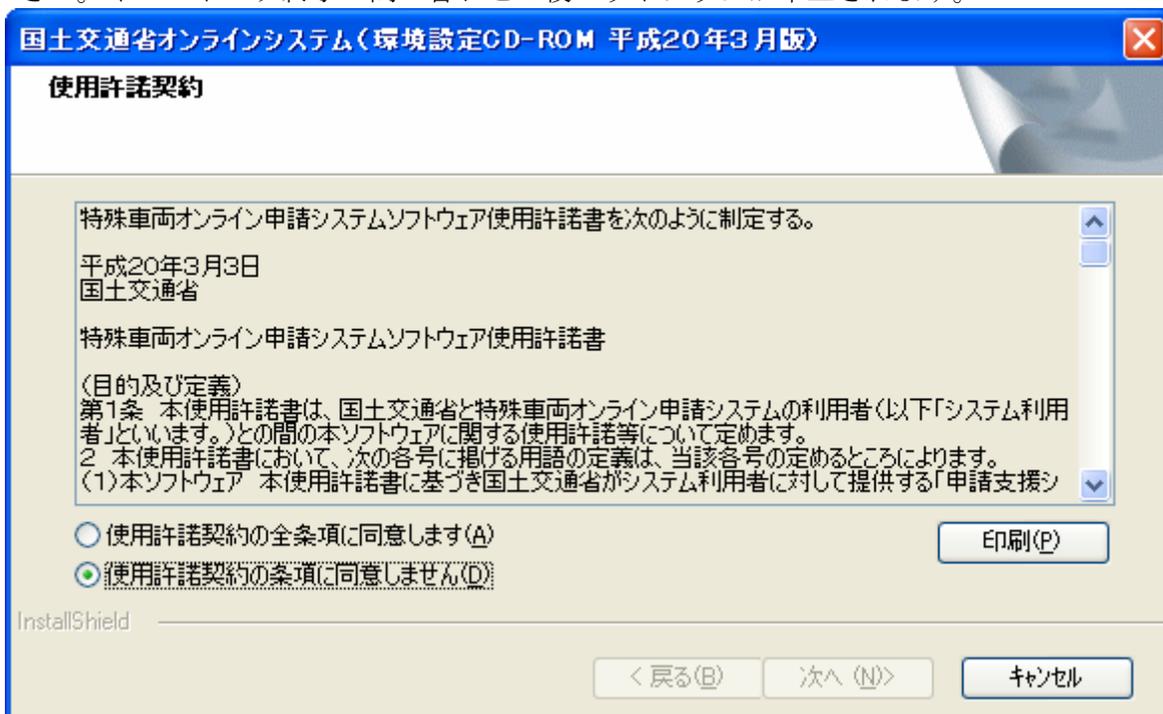
特殊車両オンラインシステム環境設定用 CD-ROM から、オンラインシステムの利用に必要な以下のものをインストールします。

環境設定プログラムおよび CD-ROM のインストール方法をまとめて CD-ROM 版にてご案内します。

6-1 環境設定用 CD-ROM のセット

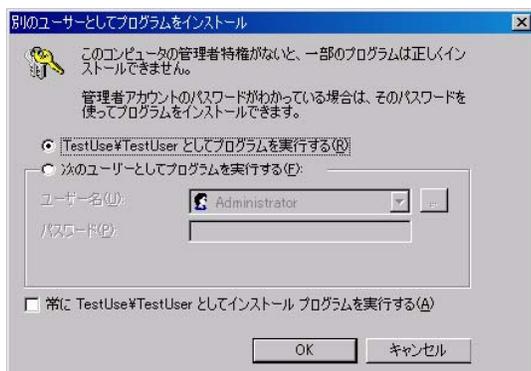
あらかじめ、全ての Windows プログラムを終了してください。次に、環境設定用 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。挿入しますと自動的に、セットアップ・プログラムが起動します。起動しない場合は、マイコンピュータを開き、CD-ROM ドライブをダブルクリックして開き、「setup.exe」を実行してください。

実行すると以下の使用許諾契約書画面が表示されます。必要に応じて使用許諾契約書を印刷し、契約書の内容に同意した場合のみ「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し「次へ」ボタンをクリックしてください。使用許諾契約書の印刷は「印刷」ボタンをクリックすると印刷されます。同意しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。インストーラ終了の問い合わせの後セットアップが中止されます。



※ Windows 2000、XP または Vista をご利用の方へ

Windows 2000, XP, Vista の場合は、ログインユーザが、Administrator(管理者)かどうかの確認を行います。Administrator 以外の場合は、以下の画面が表示されます。

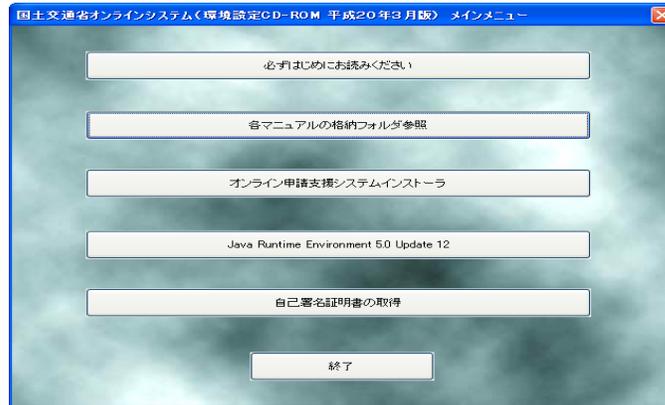


Administrator 以外のユーザがそのままプログラムを実行した場合、以下の画面が表示され処理を終了します。必ず Administrators 権限のあるユーザでログインしインストールを実行してください。



6-2 オンライン申請システムセットアップメニュー構成

セットアップメニューの構成は以下の通りです。



6-2-1. 必ずはじめにお読みください

特殊車両オンラインシステムをインストールする前に確認していただく事項及び、特殊車両オンラインシステムの関連情報が記載されています。新規インストールの場合または、操作方法がわからない場合には必ずはじめにお読みください。

(1) お使いになるパソコン環境の確認

特殊車両オンラインシステムをインストール、実行するために必要となるパソコンの性能が記述されています。インストール前に必ず確認を行ってください。

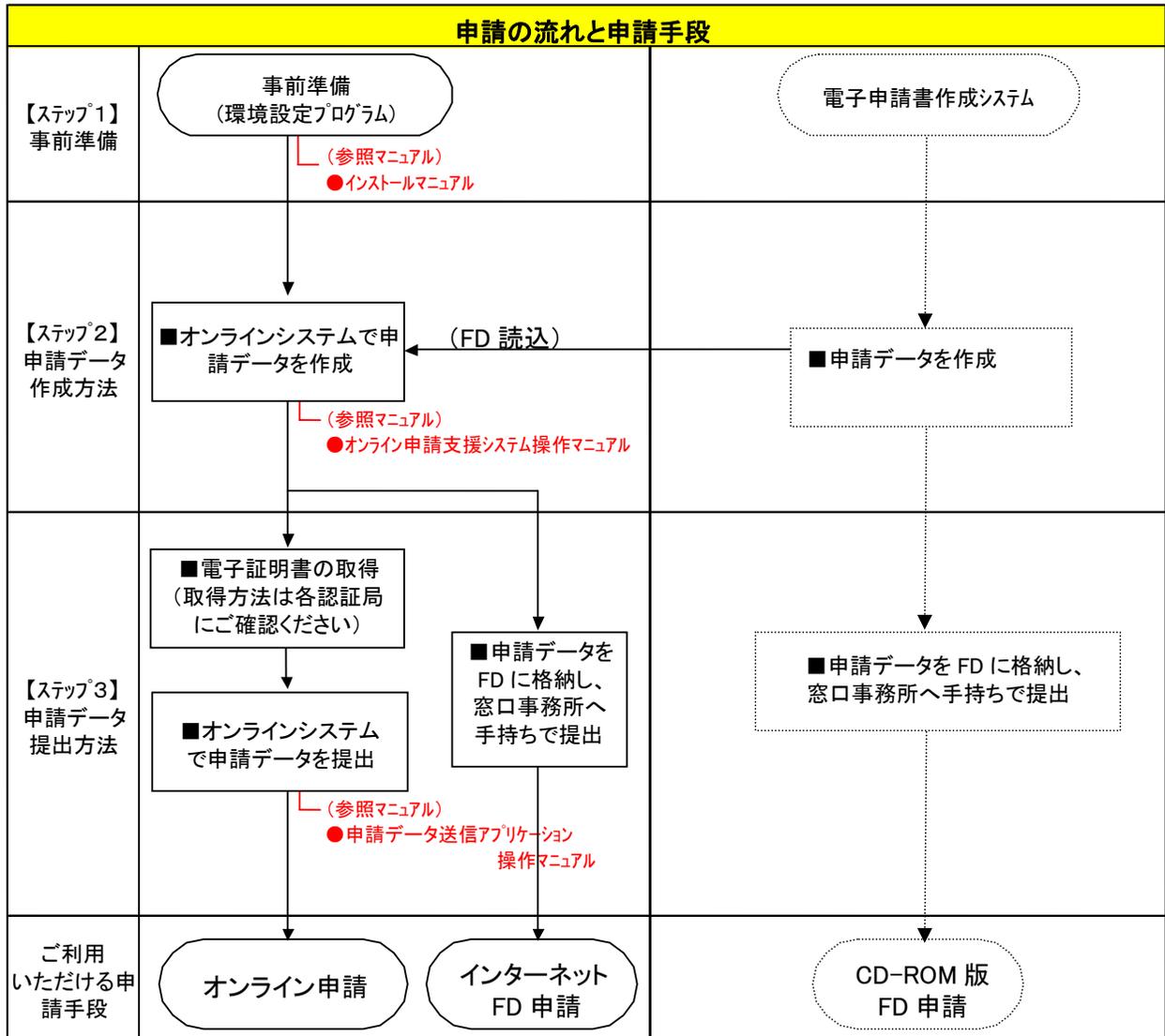
オンライン申請を利用するためには、**以下の環境が必要**になります。

画面表示	● 800×600(SVGA) 以上 ※1024×768(XGA) 以上を推奨しております。
CPU	● Pentium II (300MHz)と同等以上
メモリ	● 64MB 以上推奨
ハードディスク空き容量	● 200MB ~ 600MB
表示色数	● 256 色以上
OS	● Microsoft Windows 2000, XP, Vista ※「 Microsoft Windows XP SP2 」でオンライン申請システムをご利用の方は、下記ホームページにある「 システムに関する重要なお知らせ 」を必ずお読み下さい。  http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/
WWW ブラウザソフト	● 日本語版 Microsoft Internet Explorer 6.0, 7.0 上記の条件は推奨になります。 推奨条件以外の環境では、正常に動作しない場合があります。
ネットワーク環境	● インターネット接続が可能なこと。
必要な周辺機器	● オンライン申請を行う場合は、添付資料(車検証の写しや未収録経路図など)を電子化できるスキャナ等機器が必要です。 ※添付資料については、郵送やFAXで送ることも可能です。

(2) 環境設定 CD-ROM が提供する申請手段

申請手段についての簡単な説明と選択方法が記載されています。

申請手段は、**オンライン申請** 及び **インターネット FD 申請** です。



(3) 電子証明書の取得について

オンライン申請を行う際に必要となる電子証明書の簡単な説明と、発行を行っている各認証機関へのリンクが記載されています。用途に合わせて各認証局より電子証明書を取得してください。

電子証明書の取得方法

インターネットを利用して電子申請する場合には、電子署名を行う必要があります。この電子署名を行うには、事前に政府認証基盤(GPKI)※4を構成するブリッジ認証局(BCA)と相互認証された認証機関から発行される電子証明書を取得する必要があります。入手方法は各認証局にお問い合わせください。

平成18年10月20日現在、特殊車両オンライン申請システムで利用できる電子署名用証明書を発行している認証機関は以下の通りです。

認証局	電子ファイル※1		ICカード※2	
	法人	個人	法人	個人
商業登記認証局(法務省)	○	-	-	-
日本認証サービス株式会社	○	○	-	-
ゼコムトラストシステムズ株式会社	-	○	-	○
株式会社中電シーティーアイ ※3	○	○	○	○
日本商工会議所 (タイプ1-E・タイプ1-G<行政書士>)	○	○	-	-
公的個人認証サービス都道府県認証局	-	-	-	○
日本電子認証株式会社	-	-	○	-

(4) マニュアルの印刷

マニュアルの格納先と、マニュアルを見るために必要となるソフトウェア Adobe Reader(旧 Acrobat Reader) について記載されています。

環境設定CD-ROMには、オンライン申請システムのインストール方法や操作方法に関するマニュアルが格納されています。

なお、以前の環境設定CD-ROM(平成17年11月版)に同梱されていたマニュアルからの改訂箇所は、次の通りです。

今回	前回	改訂内容
インストールマニュアル Ver.2008-03	環境設定マニュアル Ver.2005-11	○ マニュアル名称の変更 ○ プログラムのインストール方法を申請手段別に変更するため、全面的に改訂
オンライン申請支援システム 操作マニュアル Ver.2008-03	オンライン申請支援システム 操作マニュアル Ver.2005-11	○ 内容に関する改訂無し ○ 操作画面等の画像を見やすいものに変更
申請データ送信アプリケーション 操作マニュアル Ver.2008-03	申請データ送信アプリケーション 操作マニュアル Ver.2005-11	○ 2.1アプリケーションの起動 ・セキュリティ警告画面の変更 ○ 付録5 申請の申請状況の説明を追加 ○ 付録7 FAQへ許可証ファイルの表示方法追加

(5) プログラムのインストール

各申請手段別に必要となるプログラムと、マニュアルの内容が記述されています。

■申請手段とインストールプログラム

特殊車両オンラインシステム『環境設定プログラム及び CD-ROM（申請者用）平成20年3月』は申請書を作成する、印刷する、送信する為のプログラムです。

[オンライン申請を行う方]

オンライン申請を行う方は次のプログラムをインストールしてください。

- ・オンライン申請支援システム
- ・Java2 Runtime Edition5.0Update12
- ・自己署名証明書の取得

■以前から利用されている方へ

旧バージョンの環境設定 CD-ROM をインストールしている場合は、次の内容を確認した上で、環境設定プログラムをインストールしてください。

・ 国土交通省 オンライン申請支援システム用ライブラリ

「国土交通省 オンライン申請支援システム用ライブラリ」は、Windows コントロールパネル内の『アプリケーションの追加と削除（プログラムの追加と削除）』を利用し、必ずアンインストールしてください。

・ Java2 Runtime Edition 1.4.2_03 および 1.4.2_08、1.4.2_15

Java2 Runtime Edition 1.4.2_03 および 1.4.2_08、1.4.2_15 がインストールされており、他のアプリケーションがそれを使用していない場合は、アンインストールすることをお勧めします（※）。

・ Java2 Runtime Edition 1.3.1_10 および 1.3.1_16

Java2 Runtime Edition 1.3.1_10 および 1.3.1_16 がインストールされており、他のアプリケーションがそれを使用していない場合は、アンインストールすることをお勧めします。

※ ただし、他のアプリケーションが上記の Java2 Runtime Edition を使用している場合は、アンインストールはご自身の判断にてお願い致します。

(6) 特殊車両オンライン申請システムのアクセス方法について

申請データを作成するための、「オンライン申請支援システム」、作成した申請データをオンラインで提出するための「申請データ送信アプリケーション」ダウンロード画面へのリンクが記述されています。特殊車両オンラインシステムのインストールが終わりましたら、Microsoft Internet Explorer でアクセスしてください。



【PRサイトからのアクセス】

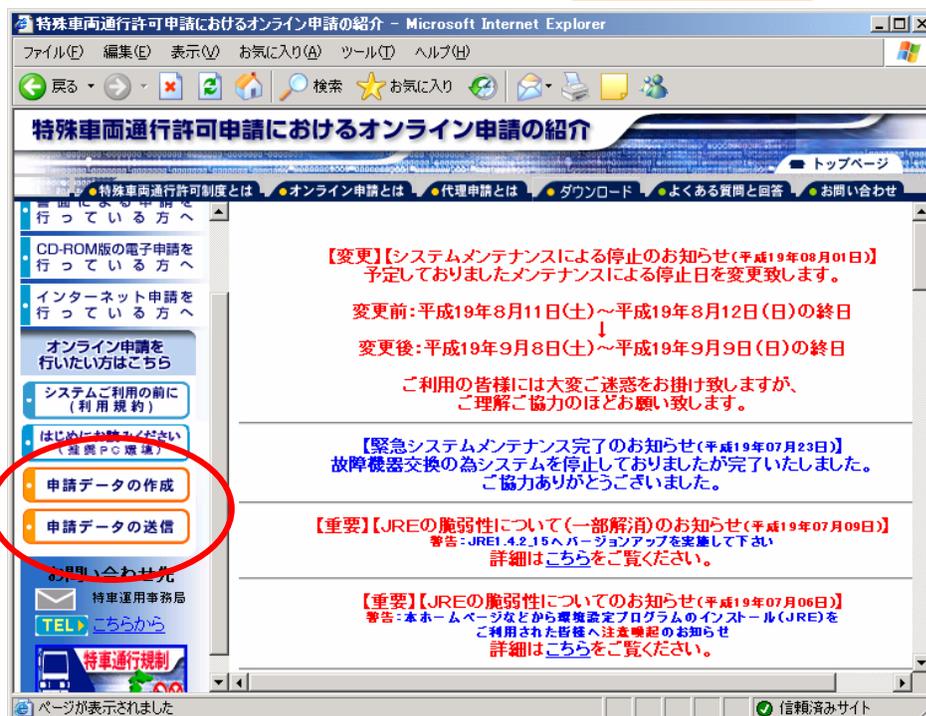
- ① デスクトップ上にあるショートカットより、特車オンライン申請 PR サイトにアクセスします。



- ② 申請データを作成する場合は「申請データの作成」ボタン、作成したデータをオンラインで提出する場合は「申請データの送信」ボタンをクリックします。

オンライン申請支援システム・・・ **申請データの作成**

申請データ送信アプリケーション・・・ **申請データの送信**

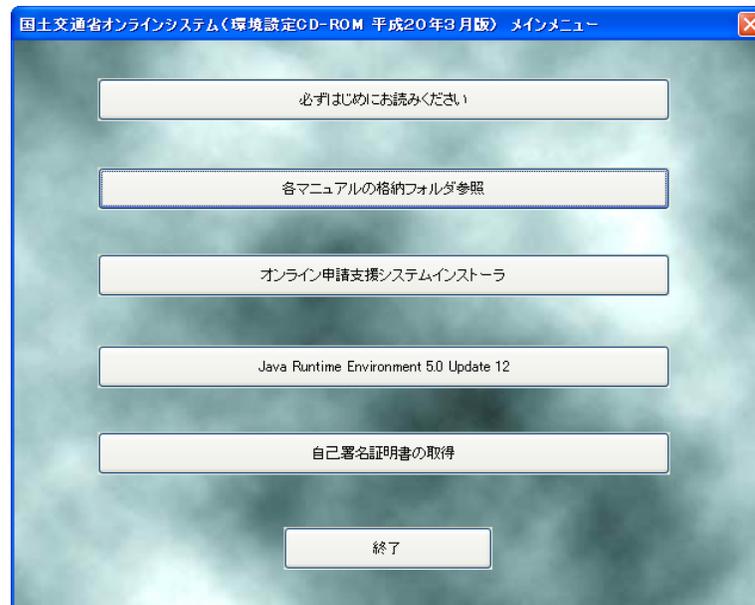


(7) システムに関するお問合せ

システムに関する問合せ先、問合せ方法について記述されています。
お問合せの際は、特車 PR サイトの「お問い合わせ」と、この項目の問合せ方法をご確認ください。

6-2-2. オンライン申請を行う方

オンライン申請を利用する際に必要となるソフトウェアのセットアップメニューが以下の通り表示されます。「オンライン申請支援システムインストーラ」、「Java2 Runtime Edition 5.0 Update12」、「自己署名証明書の取得」の順にインストールを行ってください。詳しくは「6-3 各インストーラの実行手順について」をご覧ください。



(1) オンライン申請支援システムインストーラ

オンライン申請支援システムにおける帳票印刷アプリケーション等をインストールします。詳しくは「6-3-1 オンライン申請支援システムインストーラの実行」をご覧ください。

(2) Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 インストール

特殊車両オンラインシステムにおける Sun Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 をインストールします。詳しくは「6-3-3 Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 インストールの実行」をご覧ください。

(3) 自己署名証明書の取得

自己署名証明書の取得を実施していただきます。本インストールはオンライン申請を使用する上で必要なインストールです。従来のインターネット版を利用する方は、必要ありません。詳しくは「6-3-4 自己署名証明書の取得」をご覧ください。

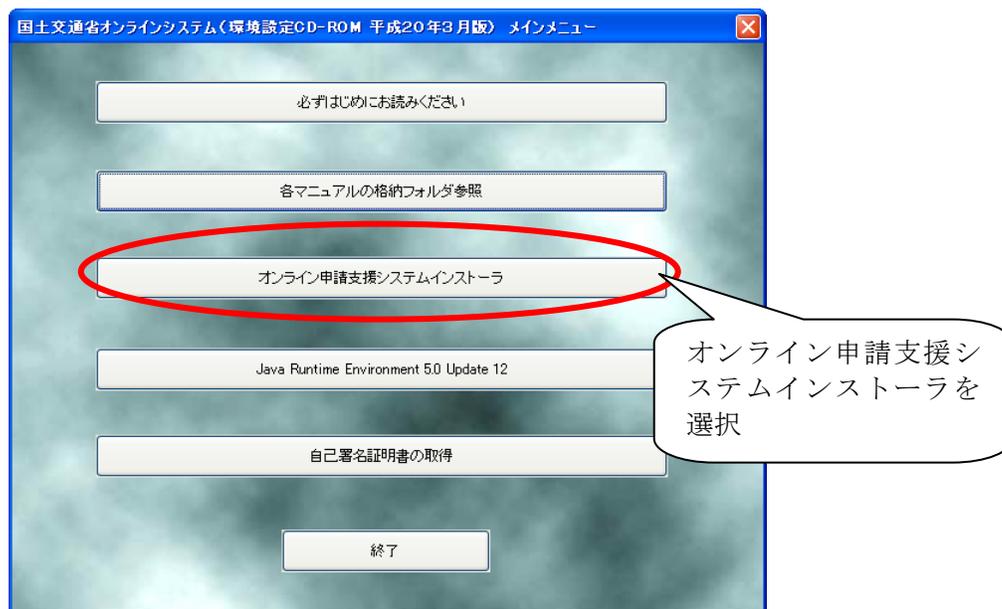
6-3 各インストーラの実行手順について

各メニュー内にあるインストーラの実行手順について説明します。各項目で関連するメニューが記載されておりますので、参考の上インストールを実施してください。

6-3-1 オンライン申請支援システムインストーラの実行

ここでは、「オンライン申請支援システムインストーラ」について説明します。オンライン申請セットアップメニュー画面、インターネットFD申請セットアップメニュー画面より「オンライン申請支援システムインストーラ」を選択しインストールを実行します。

※セットアップメニュー画面が起動されていない場合は、CD-ROM中の「setup.exe」を実行してください。

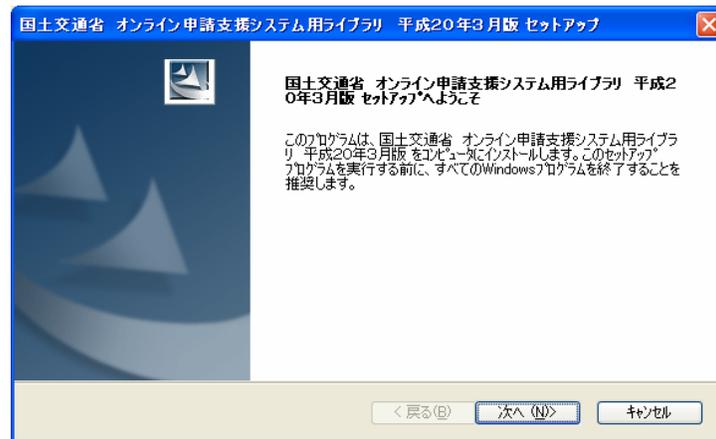


※※既にオンライン申請支援システムをインストールしている場合の注意点※※

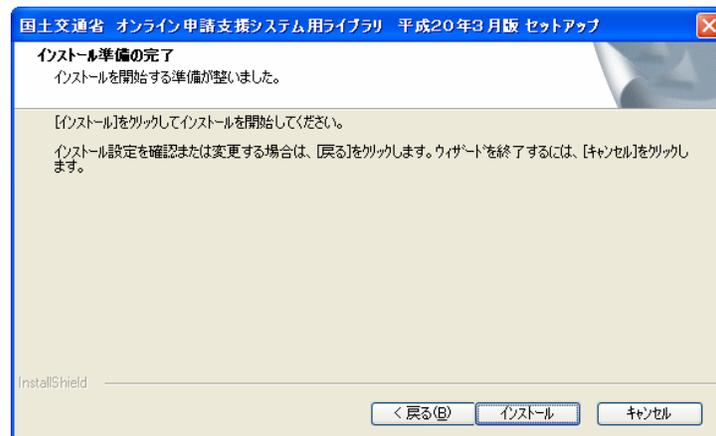
必ず Windows コントロールパネル内の「アプリケーションの追加と削除（プログラムの追加と削除）より、「国土交通省オンライン申請支援システム用ライブラリ」のアンインストールを実行してから、上記インストールを実行してください。

(1) オンライン申請支援システムインストールの実行

- ① 以下のような画面が表示されますので、「次へ」を選択してください。



- ② 「インストール」を指定してください。本インストールは、「C:\Program Files」及びレジストリへの登録を行います。従って、インストールを実行する際にログオンした使用者の権限にて、Cドライブ及びレジストリへの書き込みが禁止となっている場合は、システム管理者等へご相談ください。

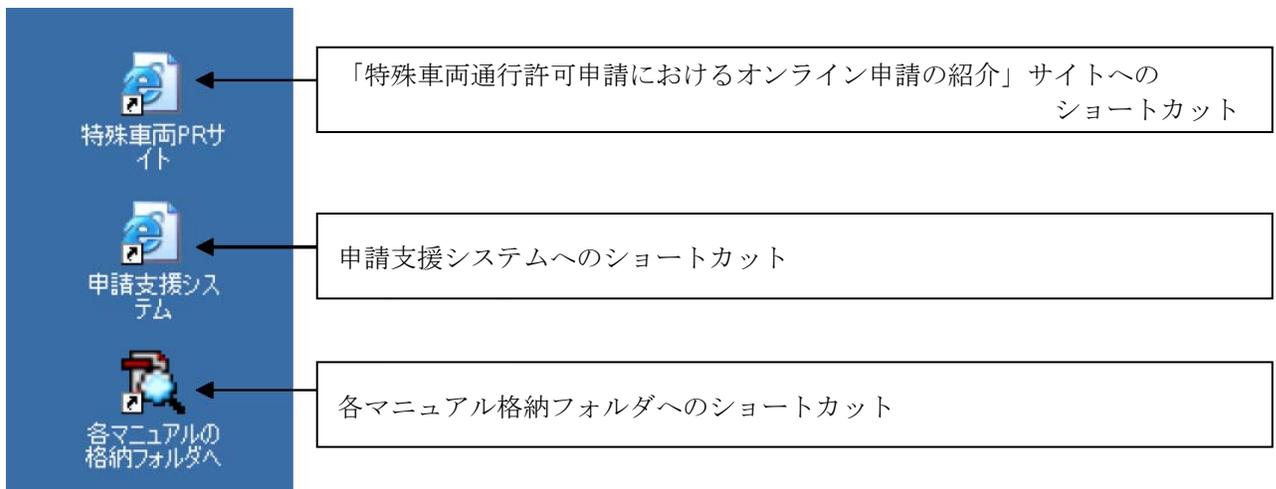


(2) オンライン申請支援システムインストールの終了

- ① インストールが正常に完了すると以下の画面が表示されますので「完了」ボタンを選択してください。



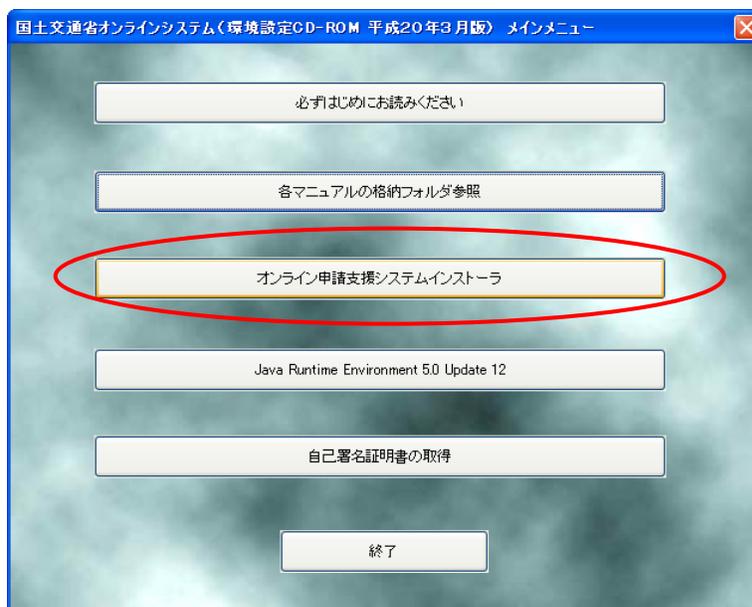
- ② インストール完了後、コンピュータのデスクトップに以下のアイコンが追加されている事を確認してください。



6-3-2. Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 インストールの実行

ここでは、Java2 Runtime Edition 5.0 Update12 のインストールについて説明します。

※セットアップメニュー画面が起動されていない場合は、CD-ROM 中の「setup.exe」を実行してください。

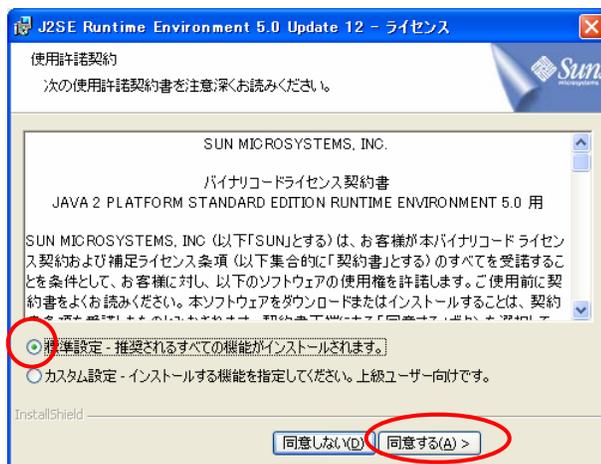


※※既にオンライン申請支援システムをインストールしている場合の注意点※※

以前から特車オンライン申請システムをお使いの方は、Java2 Runtime Edition 1.4.2_03, 1.4.2_08, 1.4.2_15 がインストールされている場合があります。Java2 Runtime Edition 1.4.2_03, 1.4.2_08, 1.4.2_15 がインストールされている場合は、先にアンインストールを行ってください。アンインストールの手順については、「9-3 2 Java2 Runtime Edition 1.4.2_03 及び 1.4.2_08 及び 1.4.2_15 のアンインストール」を参照してください。

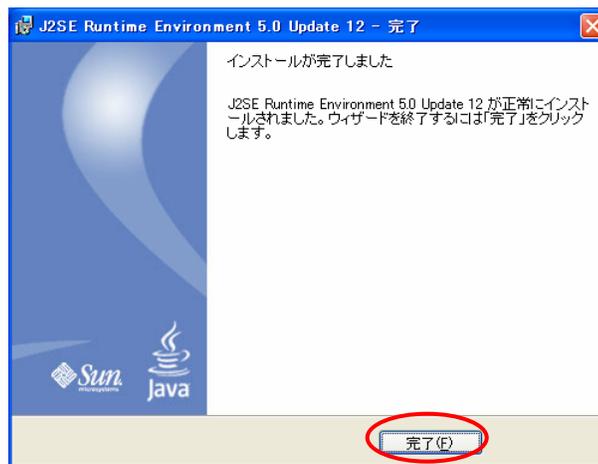
(1) Java2 Runtime Edition (JRE) インストール実行

- ① 使用許諾契約の画面が表示されますので、「標準設定-推奨されるすべての機能がインストールされます。」に設定し、「同意する」を選択してください。

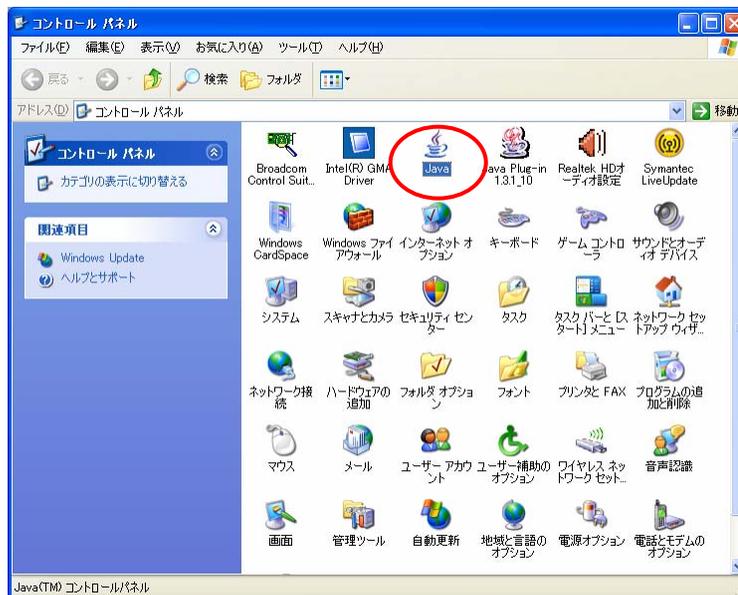


(2) Java2 Runtime Edition (JRE) インストールの完了と設定

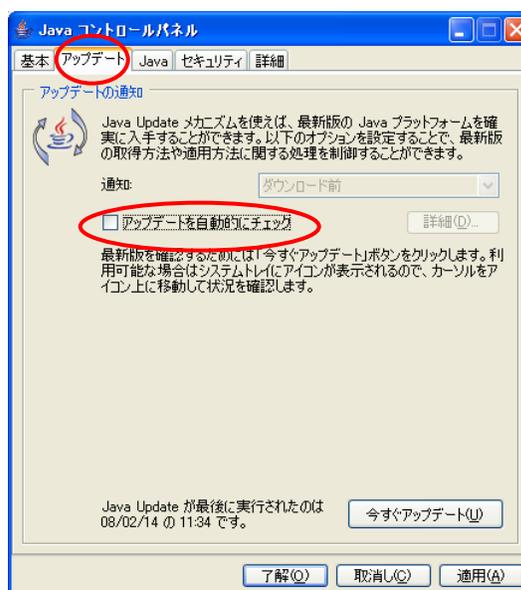
- ① インストールを実行すると以下の画面が表示されますので、「完了」を選択してください。これでインストールは終了です。



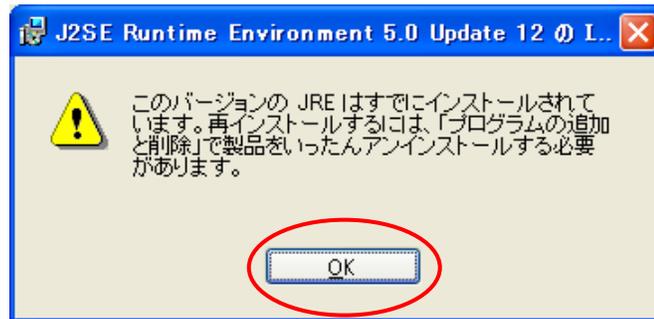
- ② [スタート]メニューより、[設定]－[コントロールパネル]を選択し、[Java]を実行してください。



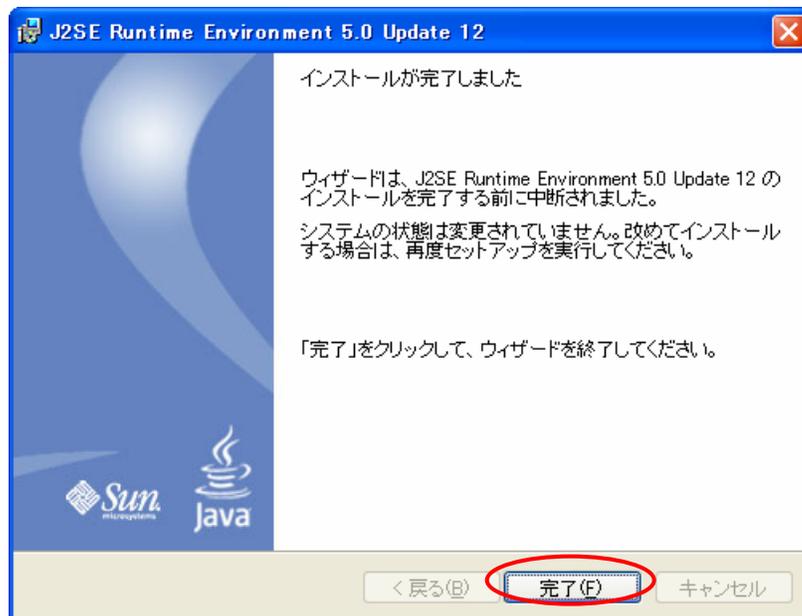
- ③ [アップデート]タブを選択し、「アップデートを自動的にチェック」のチェックをはずし、「適用」を押し、「×」で閉じて下さい。
※アップデートのタブの出ない場合は、Java 起動時に「更新する」「更新しますか」というメッセージが表示される場合があります。その場合は「更新しない」を選択してください。



※「使用許諾契約の画面」が表示されず、以下の画面が出力された場合は、既に **Java2 Runtime Edition** がご利用コンピュータにインストールされていますので「OK」を選択してください。



「完了」を選択します。



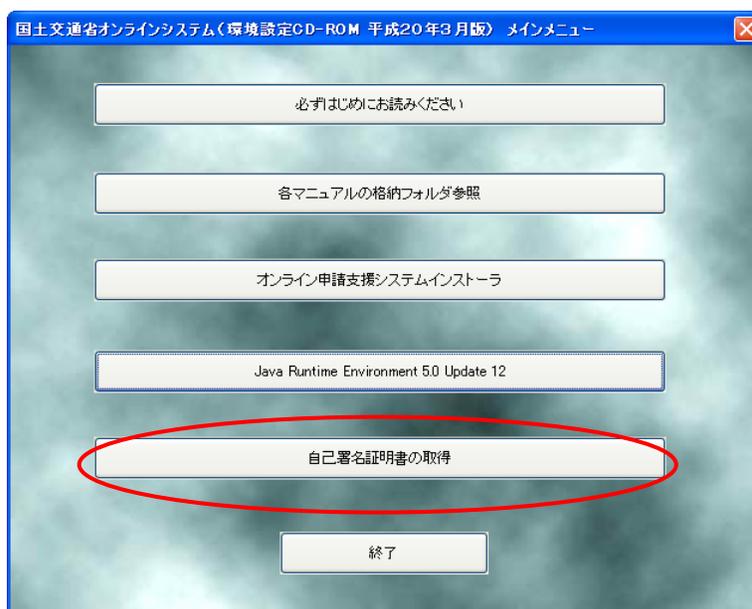
6-3-3. 自己署名証明書の取得

ここでは、自己署名証明書の取得について説明します。なお、自己署名証明書の取得は、オンライン申請を行う方を対象にしております。インターネット版をインストールする方は、自己署名証明書の取得を行う必要はありません。

本システムを利用して特殊車両の申請を行うためには、国土交通省が発行する安全な通信を行うために必要な証明書（自己署名証明書）を取得し、利用するブラウザ環境上に登録する必要があります。

(1) 自己署名証明書の取得を起動

オンライン申請セットアップメニュー画面から、「自己署名証明書の取得」を選択します。

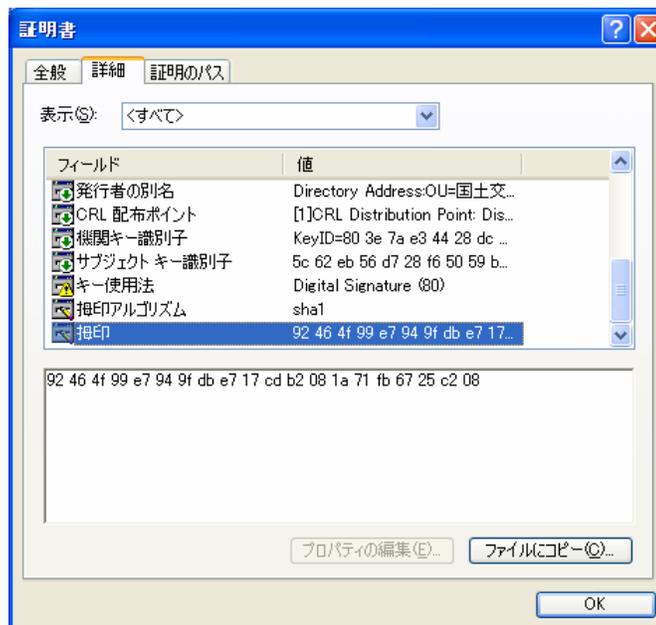


(2) 証明書の確認

自己署名証明書の取得を起動すると、以下の画面が表示されますので、「詳細設定」タブを選択し、「拇印」フィールドの値（フィンガープリント）を以下のいずれかの方法で確認してください。

- 総務省 e-gov サイトで確認する
<http://www.e-gov.go.jp/fingerprint/mlit.html>
- 国土交通省サイトで確認する
<http://www.mlit.go.jp/actionplan/ninshou.html>
- 官報で確認する

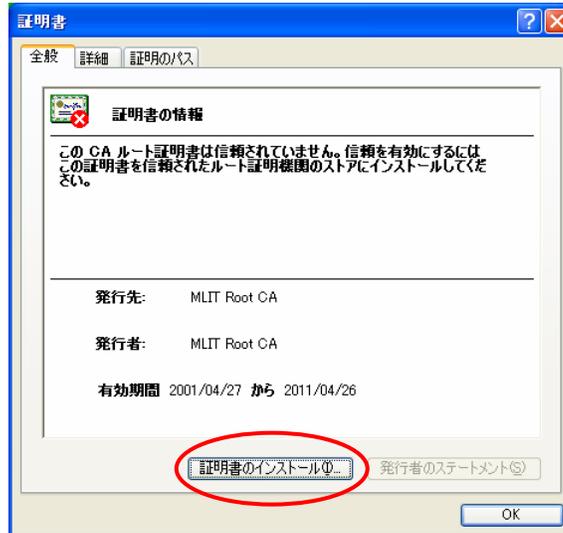
国土交通省認証局自己署名証明書のフィンガープリントは官報第3615号（平成15年5月28日）に公示されています。



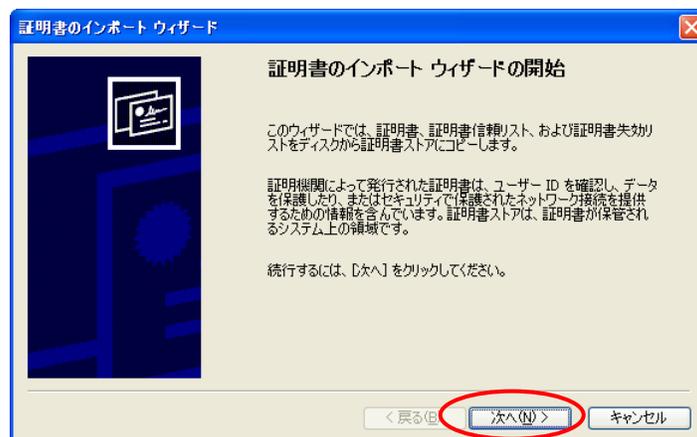
フィンガープリントの確認は、入手した証明書が確かに国土交通省認証局によって発行されたものであることを確認するために必須の手順ですので、必ず実施してください。

(3) 証明書のインストール

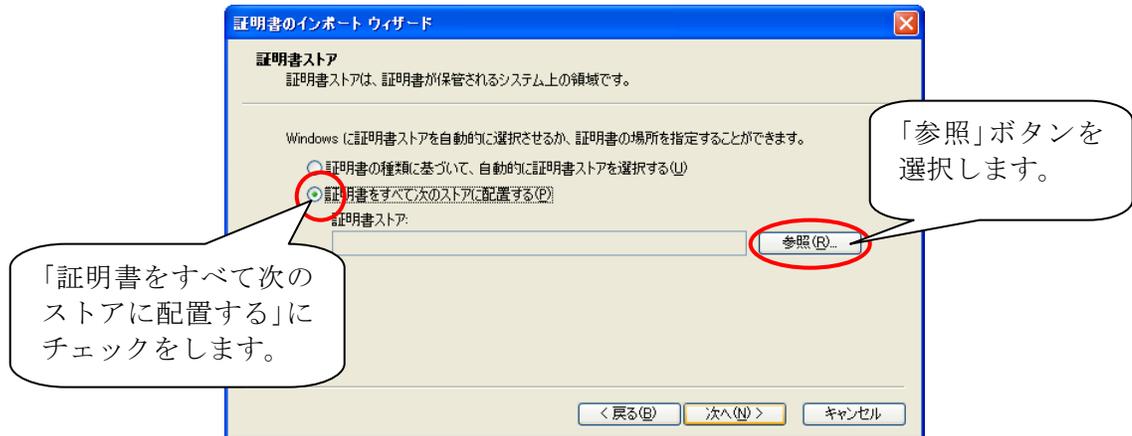
- ① 全般タブを選択し、「証明書のインストール」を選択します。



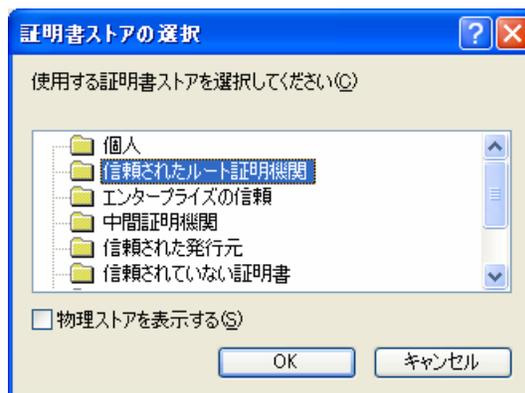
- ② 「証明書のインストール」を選択すると以下の画面が表示されますので、「次へ」を選択してください。



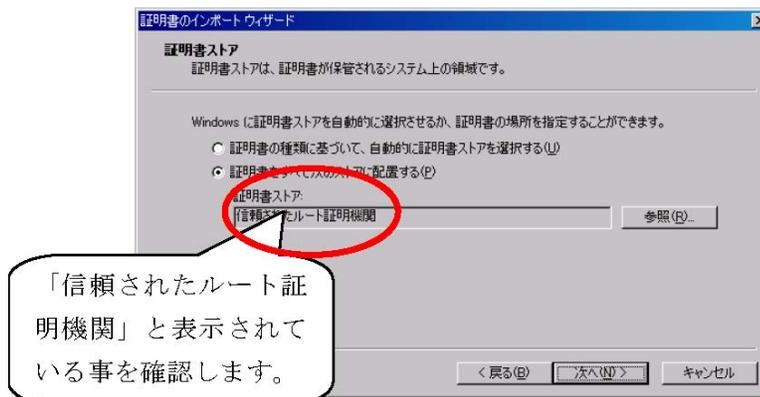
- ③ 「次へ」を選択すると証明書ストアの配置方法選択画面が表示されますので、「証明書をすべて次のストアに配置する」をチェックし「参照」ボタンを選択します。



「参照」ボタンを選択すると証明書ストアの配置先選択画面が表示されますので、「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」ボタンを選択してください。

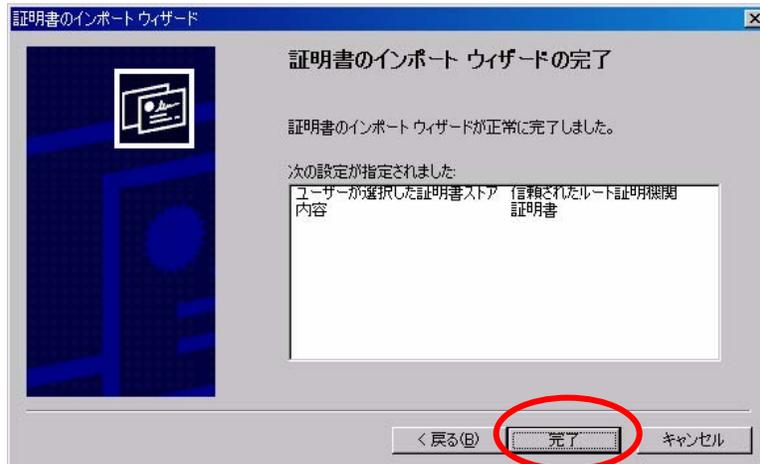


- ④ 「OK」ボタンを選択すると証明書ストアの配置方法選択画面に戻ります。証明書ストアに「信頼されたルート証明機関」と表示されている事を確認し、「次へ」ボタンを選択してください。

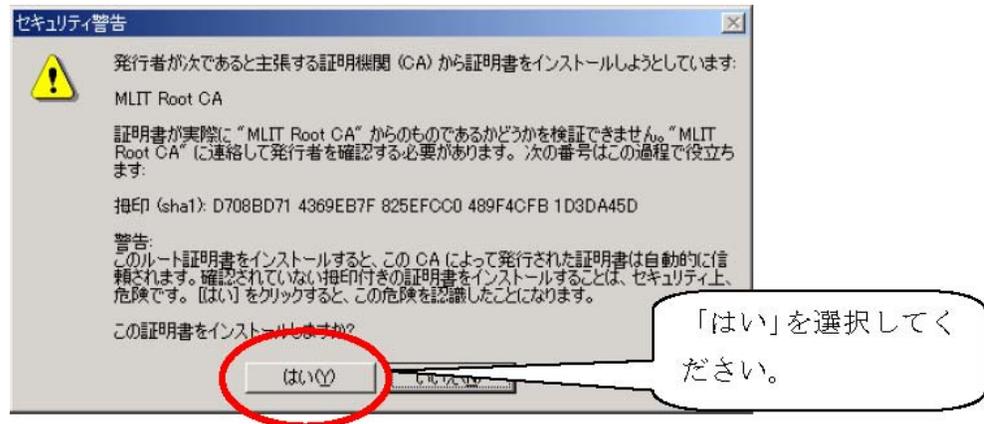


(2) 証明書のインストール完了

- ① 以下の画面が表示されれば、自己署名証明書の取得は完了ですので、「完了」ボタンを選択してください。



- ② 「完了」ボタンを選択すると、以下の画面が表示されますので、内容を確認し、「はい」ボタンを選択してください。(ご利用されている OS の環境によって表示されない場合があります。)



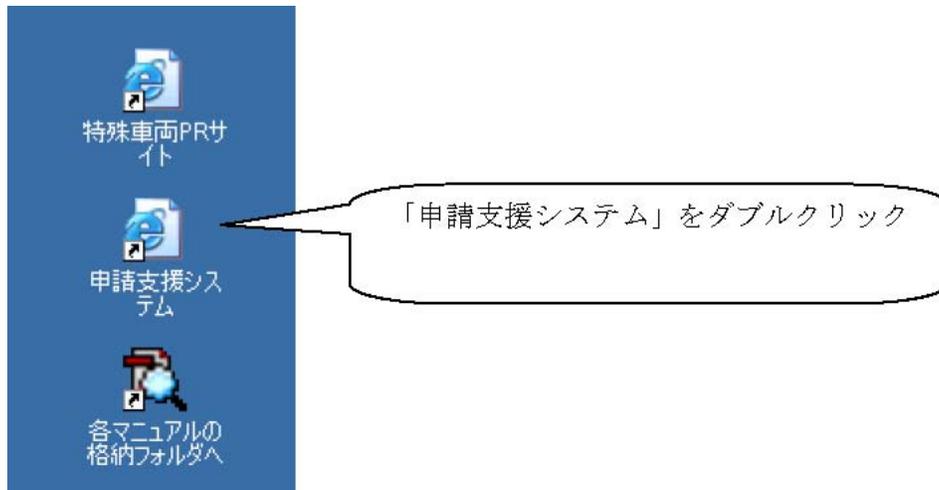
- ③ 「はい」ボタンを選択するとインストール完了画面が表示されます。



(3) 自己署名証明書の確認

ここでは、安全な通信の設定が正しく行われ、接続先が確かに国土交通省であることを確認します。

- ① インターネット接続を行い、デスクトップ上にあるショートカットより、申請支援システムにアクセスします。



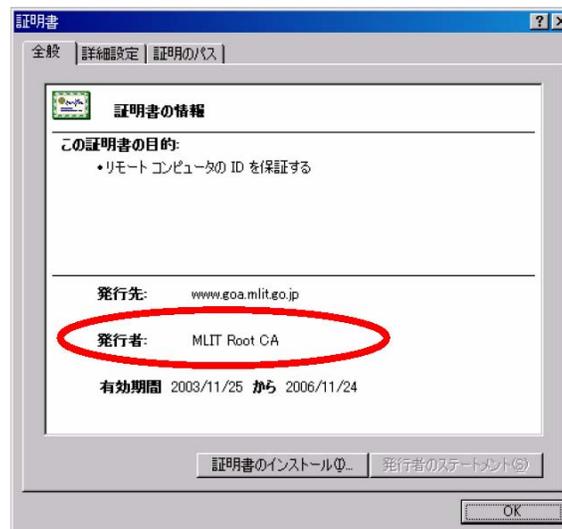
または、右クリックから「開く」を選択してください



- ② 以下の画面が表示されたら、ブラウザの右下に表示されている鍵マークをダブルクリックします。



- ③ 鍵マークをダブルクリックし、開くと以下の証明書画面が表示されますので、発行者の部分に「MLIT Root CA」と表示されていることを確認します。



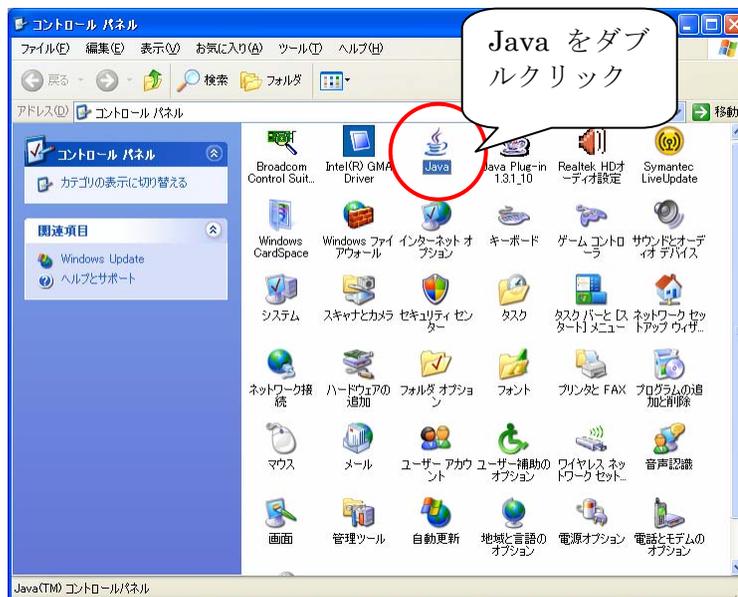
以上で接続先が間違いなく国土交通省であり、安全な通信が行われていることが確認できました。

6-3-4. Java の設定

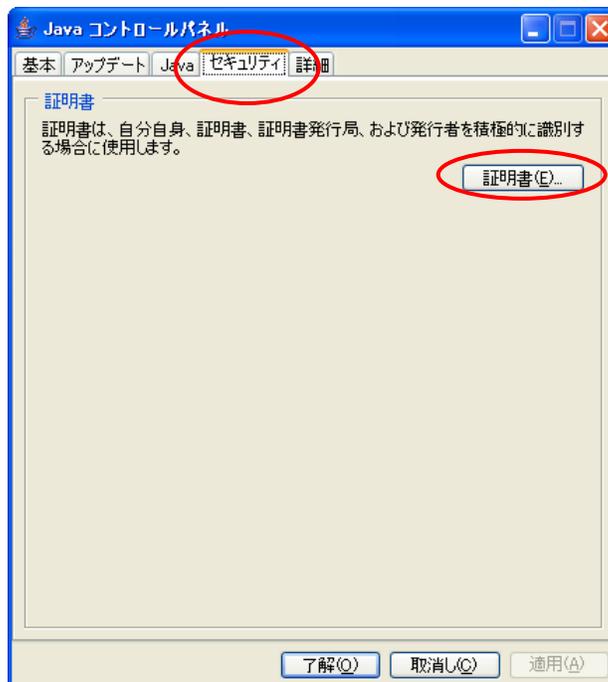
ここでは、Java の設定を行います。

(1) ルート証明書の設定

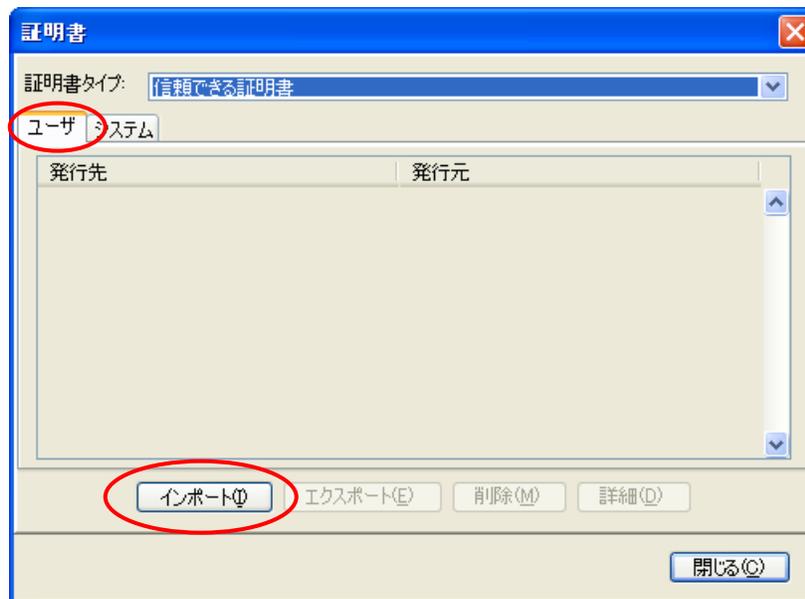
- ① Windows の [スタート] メニューより、[コントロールパネル] - [Java] をダブルクリックします。



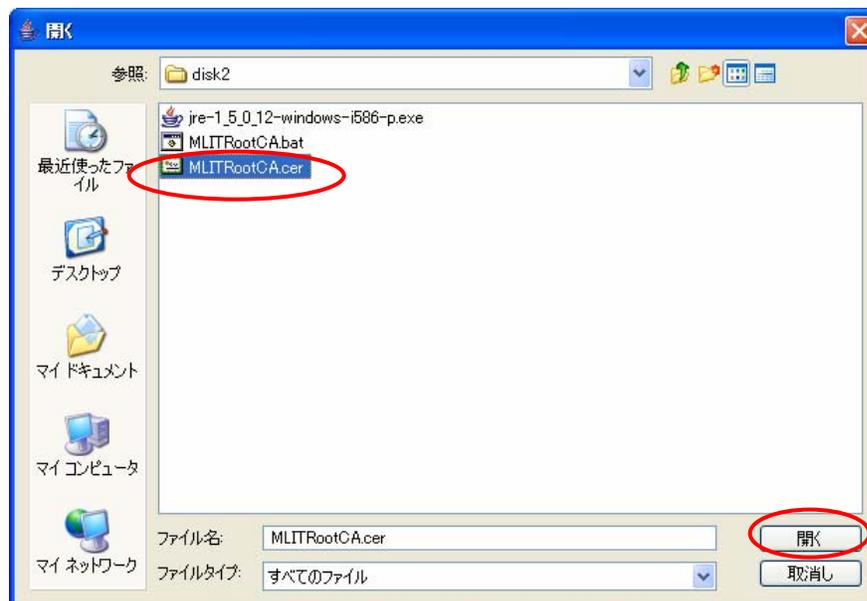
- ② メニューバーの「セキュリティ」 - 「証明書」をクリックします。



- ③ [ユーザ]タブを選択し、「インポート」ボタンを押してください。



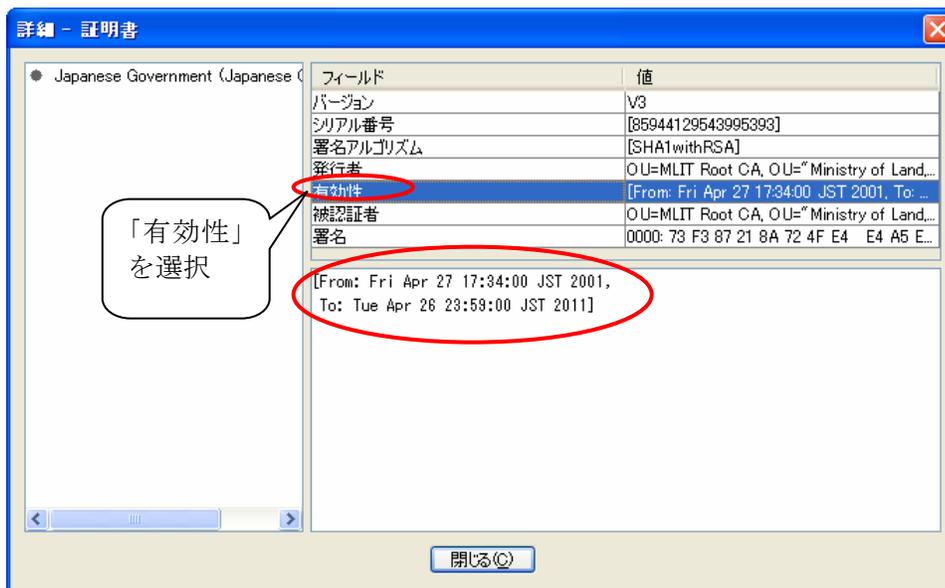
- ④ 自己署名証明書が保存されている”MLITRootCA.cer”ファイルを選択します。
環境設定 CD-ROM の場合は、CD-ROM ドライブの”disk2”フォルダ内より指定をして「開く」ボタンを選択します。
PR サイトから環境設定プログラムをダウンロードした場合は、”Installer.exe”の解凍後に作成される”Installer”フォルダの中の”disk2”フォルダ内より指定をして、「開く」ボタンを選択します。



- ⑤ 次に以下の画面が表示されますので、「詳細」を選択して下さい。



- ⑥ 「詳細」を選択すると、以下の画面が表示されますので、「有効性」を選択し、内容を確認後、「閉じる」を選択してください。



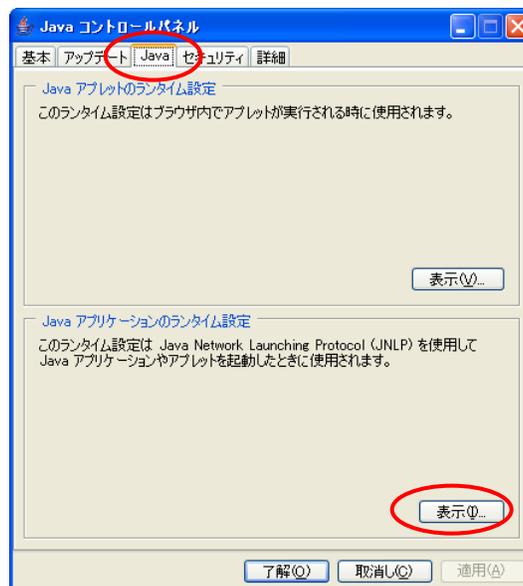
- ⑦ 「閉じる」を選択すると以下の画面が表示されますので、「了解」ボタンを選択して設定画面を閉じます。



(2) Java (JNLP) のバージョン設定

ここでは、申請データ送信アプリケーションが、インストールした Java2 Runtime Edition5.0 Update12 で動作するように設定を行います。

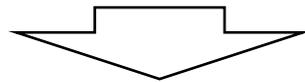
- ① コントロールパネルの [Java] を選択し、設定画面の「Java」タブをクリックします。「Java アプリケーションのランタイム設定」の「表示」をクリックします。



- ② 「プラットフォーム」が「1.5」の内、「製品のバージョン」が「1.5.0_12」だけが有効になっていることを確認します。(他のバージョンが有効になっている場合は、チェックボックスの ON を OFF にしてください) 確認後、了解ボタンをクリックして設定画面を閉じ、Java を終了します。



※※注意※※
以前他のバージョンをインストールされている場合は、異なるバージョンのものが多数表示される場合があります。



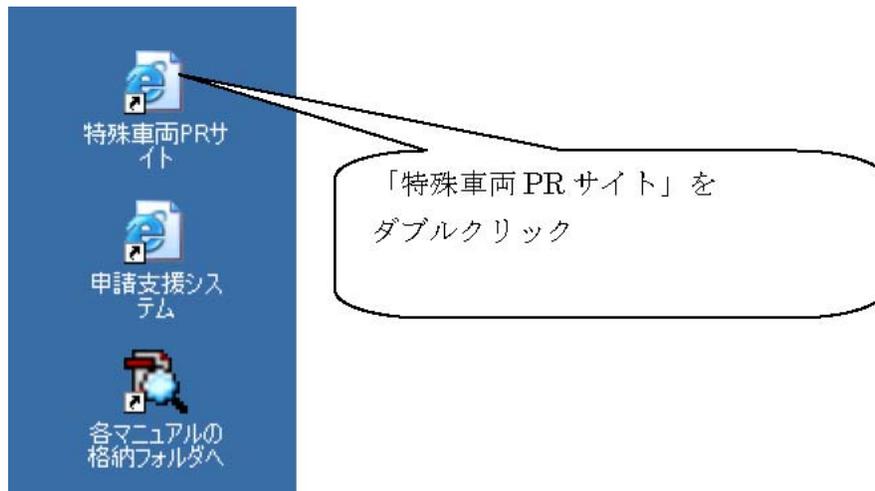
以上で Java の設定は終了です。

6-3-5. 申請データ送信アプリケーションのインストール

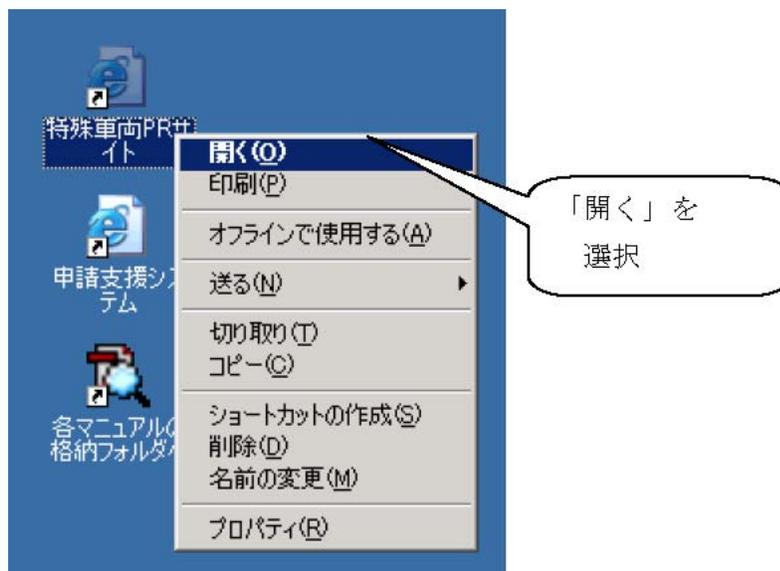
ここでは、申請データ送信アプリケーションのインストールを行います。

(1) ダウンロードの実行

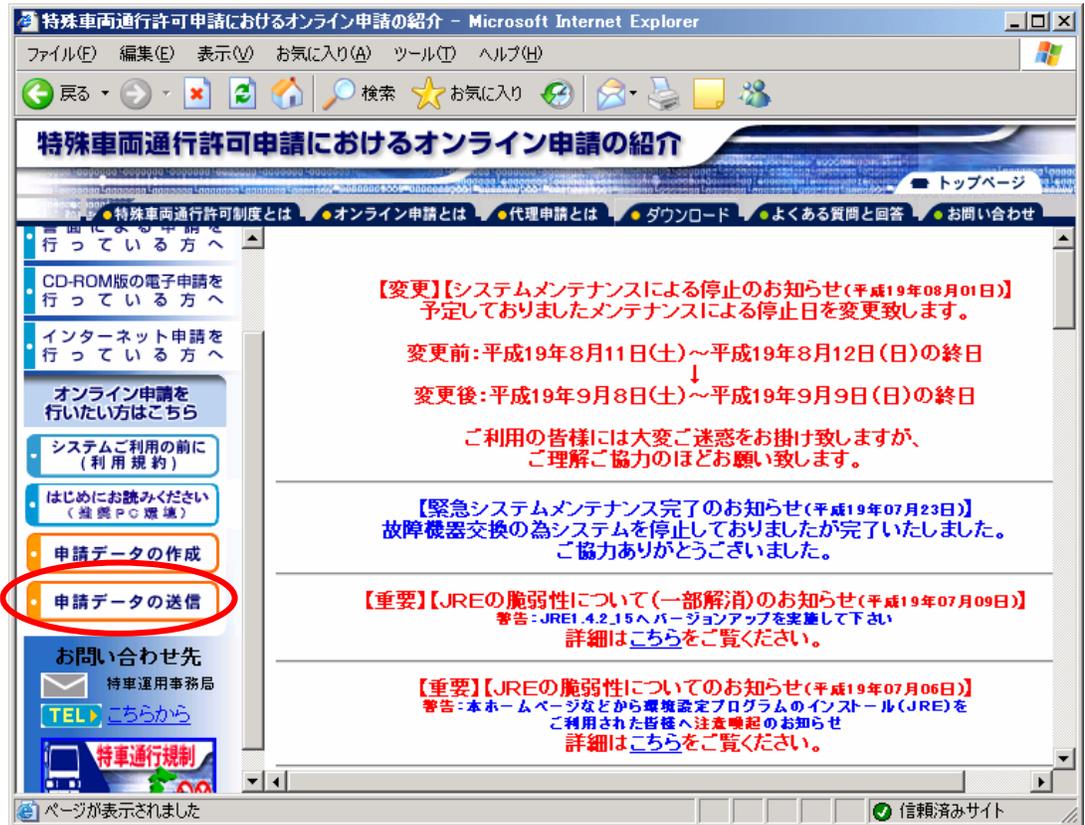
- ① インターネット接続を行い、デスクトップ上にあるショートカットより、申請支援システムにアクセスします。



または、右クリックから「開く」を選択してください



- ② 「申請データ送信」 ボタンをクリックします。



- ③ アクセスすると以下の画面が表示されますので「申請データ送信アプリケーション」を選択（クリック）します。



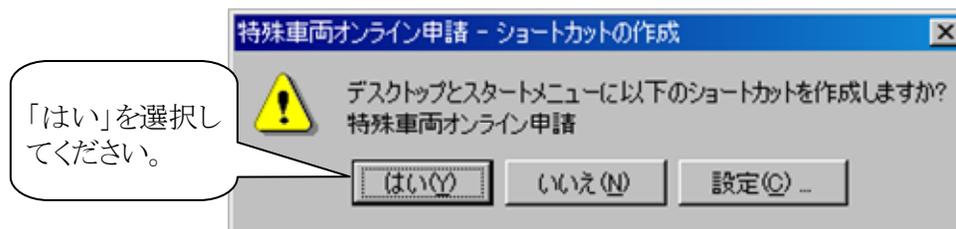
- ④ 選択すると以下の画面が表示され、ダウンロードを開始します。



- ⑤ ダウンロードが終了すると、「セキュリティ警告」画面が表示されます。
※一度「開始」ボタンをクリックすると、申請データ送信アプリケーションが更新されるまでは表示されません。



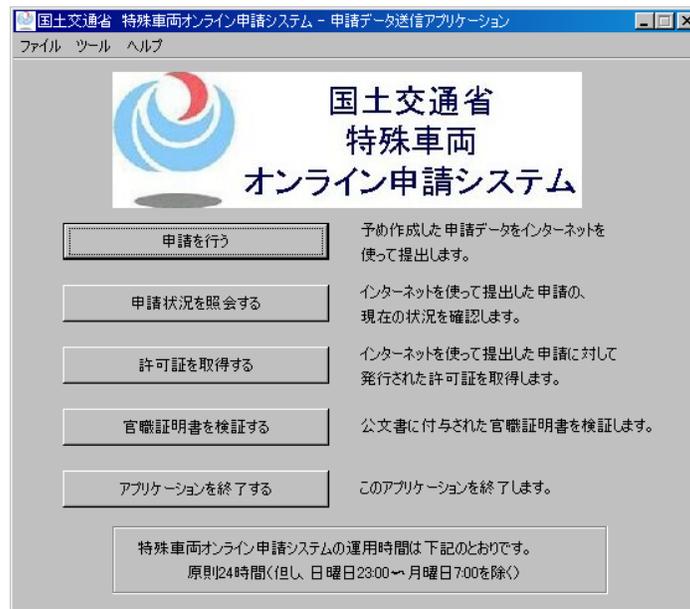
- ⑥ 以下の画面が表示されますので、「はい」を選択してください。すると、デスクトップ上に申請データ送信アプリケーションのショートカットが作成されます。





次回起動時以降、ショートカットをダブルクリックすると起動できます。

⑦ 申請データ送信アプリケーションが起動され、以下の画面が表示されます。



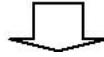
(2) 申請データ送信アプリケーションの設定

ここでは、申請データ送信アプリケーションの設定について説明します。

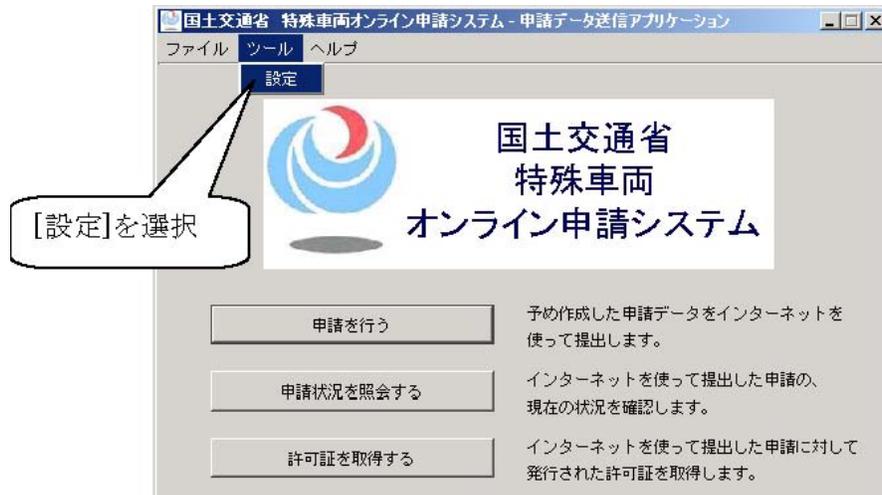
■ 自己署名証明書（国土交通省）の設定

本アプリケーションを利用して申請を行うためには、国土交通省が発行する安全な通信を行うために必要な証明書（自己署名証明書）が、本アプリケーションに設定されている必要がありますので確認を行います。

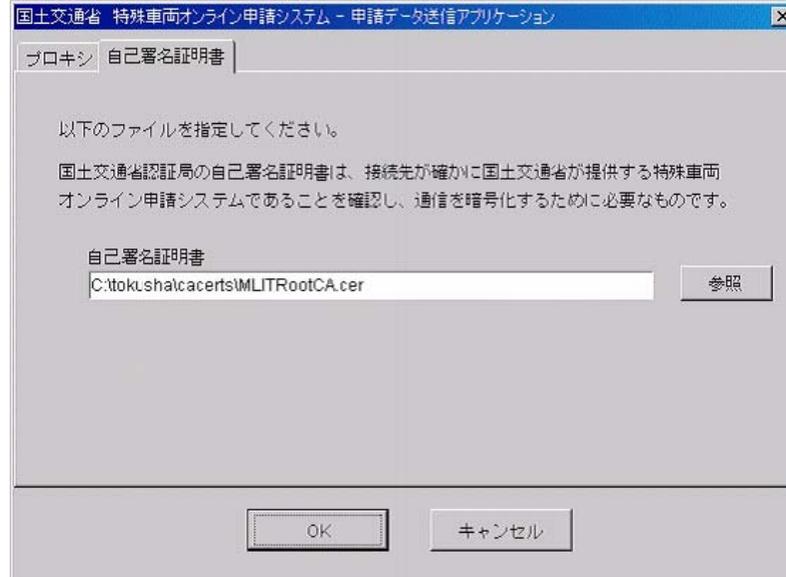
- ① デスクトップ上にある「特殊車両オンライン申請」を選択（ダブルクリック）すると、申請データ送信アプリケーションの「メインメニュー」画面が表示されます。



② 以下の画面が出力されたら、プルダウンメニューの[ツール]の[設定]を選択します。



- ③ [設定]を選択すると以下の画面が表示されますので、「自己署名証明書」タブをクリックし、「自己署名証明書」画面を表示し、「自己署名証明書」欄に「C:/tokusha/cacerts/MLITRootCA.cer」が表示されていることを確認します。



■プロキシの設定

ご利用されているインターネットへの接続環境が、プロキシサーバ経由の設定である場合この操作を行います。

※※注意※※

自社のネットワークがプロキシを使用しているかどうかは、自社のネットワーク管理者等に確認してください。プロキシの設定値については、ご利用のブラウザの設定を確認するか、自社のネットワーク管理者等に確認してください。

国土交通省 特殊車両オンライン申請システム - 申請データ送信アプリケーション

プロキシ 自己署名証明書

使用するプロキシのアドレス、ポート、プロトコルを指定してください。
指定する場合は、アドレス、ポート、プロトコルすべてを入力してください。

① プロキシを使用する

② アドレス: 255.255.255.255

③ ポート: 8080

④ プロトコル: HTTP

参考例
※ご利用のパソコンに合わせた環境に設定してください。

OK キャンセル

- ① **プロキシを使用する** チェックボックスをチェックします。
→ **アドレス** テキストフィールド、**ポート** テキストフィールド、**プロトコル** プルダウンメニューの操作が可能になります。
- ② **アドレス** テキストフィールドに、アドレスを半角英数字で入力します。
- ③ **ポート** テキストフィールドに、ポート番号を半角数字で入力します。
- ④ **プロトコル** プルダウンメニューから、該当するプロトコルを選択します。

⑤ 設定を終了します。

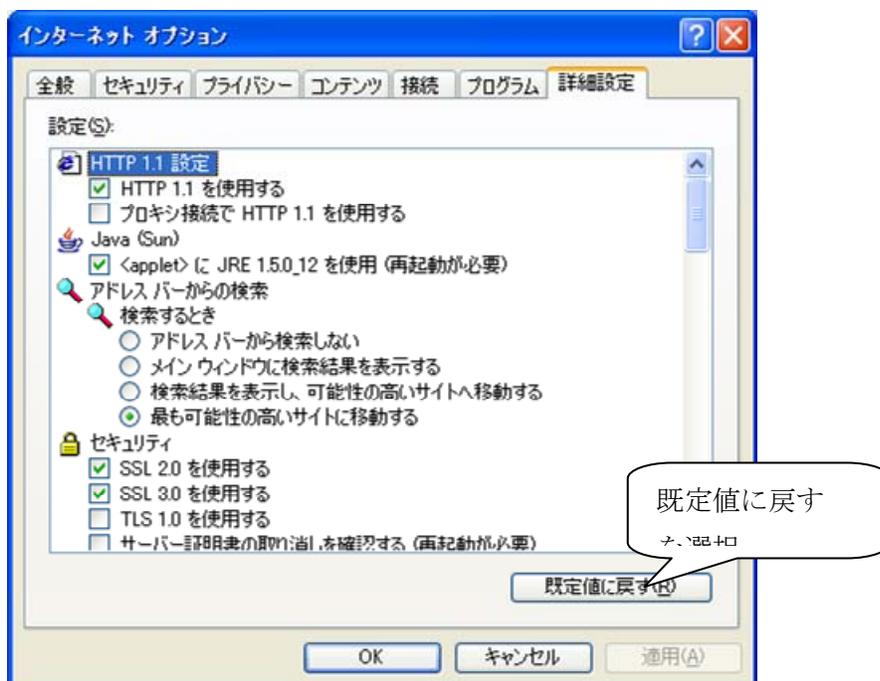
以上で申請データ送信アプリケーションのインストール及び設定は終了です。

7 Internet Explorer 利用時の設定

Microsoft Internet Explorer 6.0 代を利用されている場合、以下の設定を行ってください。

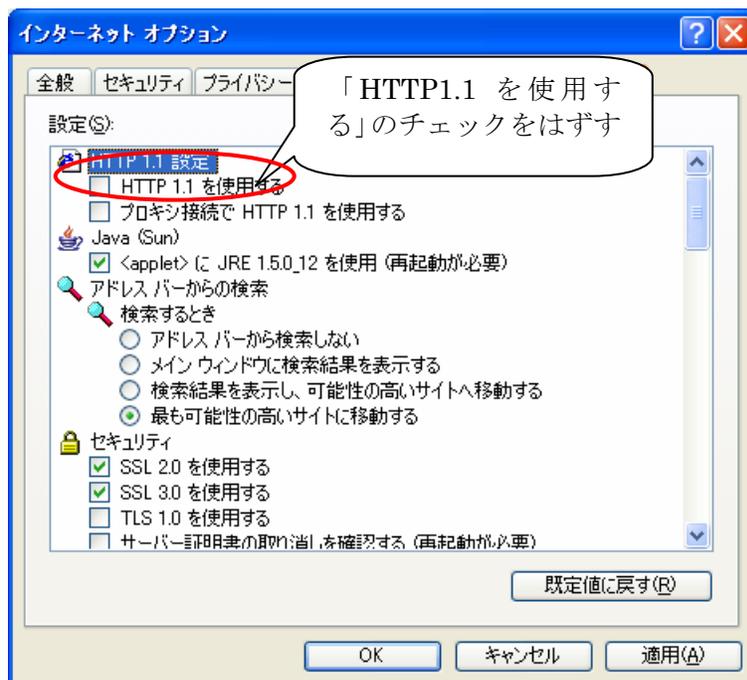
7-1 Internet Explorer の起動

Internet Explorer を起動し、ツールバーの [ツール] - [インターネットオプション] を選択し、詳細設定のタブを選択します。次に可能な場合は「既定値に戻す」を選択し、インターネットオプションの設定を標準にします。



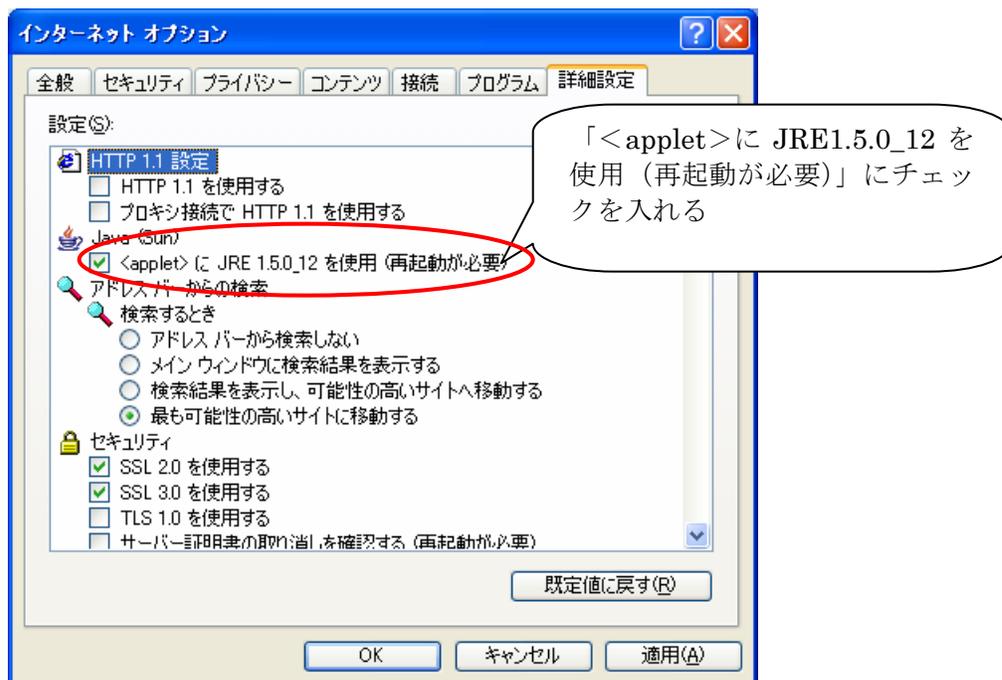
7-2 HTTP1.1 の設定の変更

設定を標準に戻したら、“HTTP1.1 設定”の HTTP1.1 を使用する“のチェックボックスより、チェックをはずします。



7-3 Java2 Runtime Edition の設定

詳細設定内項目の JRE 1.5.0_12 を使用 (再起動が必要) のチェックボックスにチェックを入れ (インストール直後は必ずチェックが入っています。)、**「OK」** を選択し、インターネットエクスプローラを終了してください。



※ 一度インターネットエクスプローラを終了しないと設定は有効になりません。以上でオンライン申請システムのインストール及び環境設定は終了です。

チェックポイント

環境設定CD-ROMによるインストール及び各種の設定はお済みでしょうか？
次項よりシステムの起動を行いますが、以下の設定内容をご確認願います。

チェック①： 申請支援システムのインストールの確認（18 頁）

チェック②： 証明書インストールの確認（29 頁）

チェック③： Java2 Runtime Edition5.0 Update12 の確認（34 頁）

チェック④： 申請データ送信アプリケーションの確認（39 頁）
（オンライン申請を行う方のみ）

チェック⑤： Internet Explorer の確認（44 頁）

8 システムの起動

8-1 各種マニュアルについて

各種マニュアルについてはデスクトップ上の「各マニュアルの格納フォルダへ」を選択（ダブルクリック）すれば、以下に示すマニュアルが閲覧できますが、「各マニュアルの格納フォルダへ」ショートカットアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします。

8-2 申請データの作成を行う方

申請データの作成を行う方は、デスクトップ上にある「申請支援システム」を選択（ダブルクリック）してください。



8-3 オンライン申請を行う方

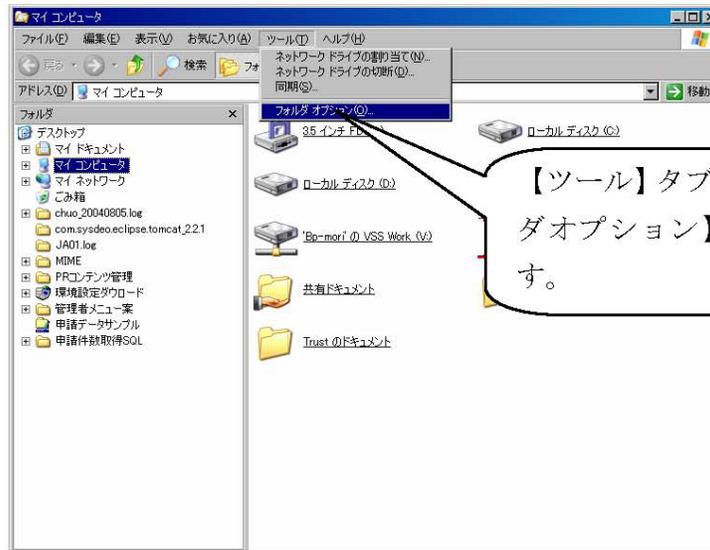
オンライン申請を行う方はデスクトップ上にある「特殊車両オンライン申請」を選択（ダブルクリック）してください。申請データ送信アプリケーションが起動します。



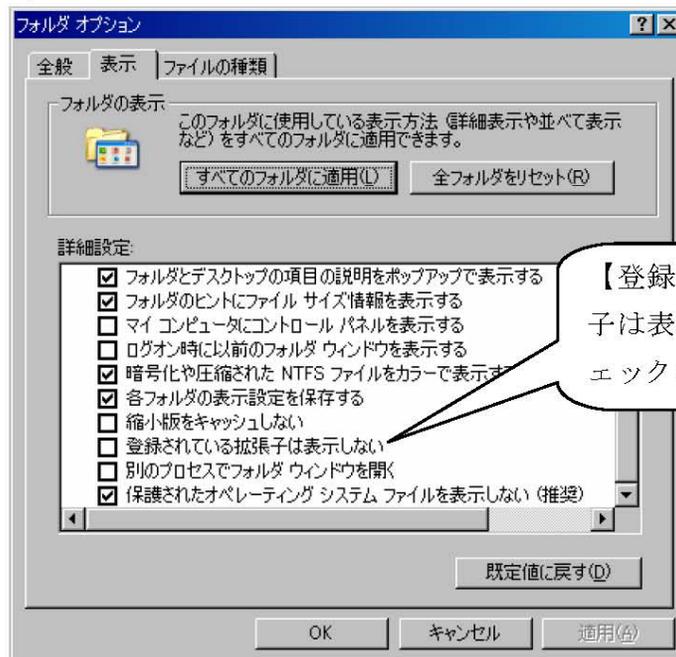


【ファイルの拡張子を表示する方法】

1. マイコンピュータを右クリックし、エクスプローラを選択します。
2. 【ツール】タブから【フォルダオプション】を選択します。



3. 【表示】タブを選択し、【登録されている拡張子は表示しない】のチェックを外します。



4. 【OK】ボタンを選択します。

9 アンインストール（プログラムの削除）



システムを利用しなくなった場合、プログラムの削除を行います。

9-1 申請支援システムのアンインストール

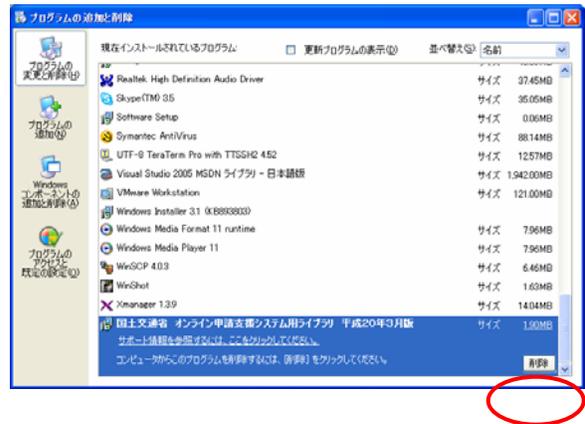
- ① <コントロールパネルの表示> [スタート] メニューより、[コントロールパネル] をクリックします。



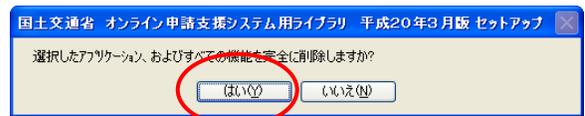
- ② <プログラムの追加と削除>「プログラムの追加と削除」をクリックします。



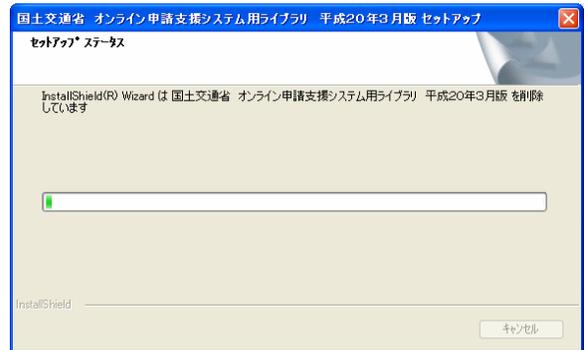
- ③ <アンインストール>
「プログラムの追加と削除」画面から「国土交通省オンライン申請支援システム用ライブラリ」を選択して、削除ボタンをクリックします。（もしくは「国土交通省オンライン特車システム用ライブラリ」）



- ④ <アンインストールの確認>
「削除の確認」画面が表示されます。はい (Y) ボタンをクリックします。



- ⑤ <アンインストールの実行>
国土交通省オンライン申請支援システム用ライブラリのアンインストールが実行されます。



- ⑥ <アンインストールの完了>
アンインストールの完了後、正常に終了すると左の画面が出力されますので、完了ボタンをクリックします。アンインストールは完了しました。

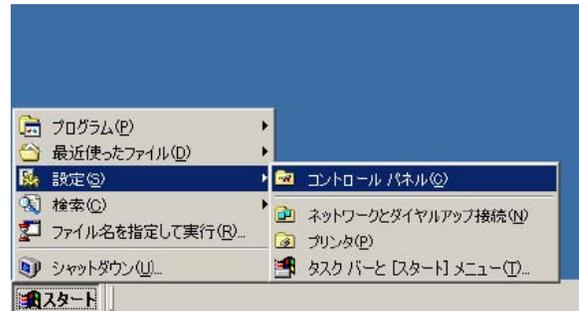


9-2 申請データ送信アプリケーションのアンインストール

ここでは、申請データ送信アプリケーションのアンインストールする手順について説明します。申請データ送信アプリケーションを削除する場合に行ってください。

① <コントロールパネルの表示>

[スタート]メニューより、[設定] - [コントロールパネル] をクリックします。



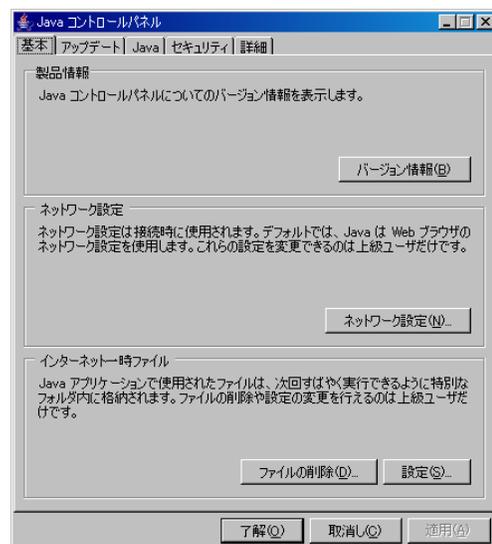
② <Java コントロールパネルの起動>

「Java」をクリックします。



③ <一時ファイルの設定>

「Java コントロールパネル」画面から、インターネット一時ファイル欄の「設定」ボタンをクリックします。



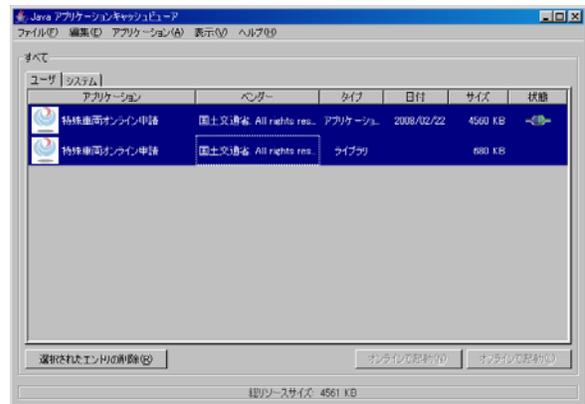
④ <アプリケーションの表示>

「一時ファイルの設定」画面が表示され、**アプリケーションの表示(V)**ボタンをクリックします。



⑤ <選択したエントリの削除>

「Java アプリケーションキャッシュビューア」画面が表示され、2つの「特殊車両オンライン申請」を選択し、**選択されたエントリの削除(R)**ボタンをクリックします。



⑥ <ファイルの削除>

Java Web Start をインストールしたドライブの直下に、「tokusha」フォルダが存在し、その配下に本アプリケーションで使用したファイルが保存されています。(通常は、「C:¥tokusha」です。)



※※注意※※

このフォルダ配下には特殊車両オンライン申請に使用した「申請データ」や、「到達確認シート」、「許可証ファイル」など重要なファイルが存在します。これらのファイルが必要ないかどうか、必要なファイルについては別の場所にバックアップが確保されているか、十分に確認してください。

このフォルダ配下に必要なファイルは存在しないことが確認できた場合のみこのフォルダを削除してください。

確認が取れない、よく分からないといった場合には、このフォルダの削除は行わないことをお勧めします。

9-3 Java2 Runtime Edition のアンインストール

ここでは、本アプリケーションが使用している Java の実行環境である Java2 Runtime Edition をアンインストールする手順を説明します。Java2 Runtime Edition のアンインストールは他のアプリケーションが Java2 Runtime Edition 1.3.1_16 や Java2 Runtime Edition 1.3.1_10、Java2 Runtime Edition 1.4.2_16、Java2 Runtime Edition 1.4.2_03、Java2 Runtime Edition 1.4.2_15、Java Web Start を使用していないことを十分に確認して行ってください。他のアプリケーションがこれらの Java2 Runtime Edition を使用している場合は、アンインストールを行わないようにしてください。それらのアプリケーションが正常に動作しなくなる可能性があります。

(1) Java2 Runtime Edition 5.0 Update 12 のアンインストール

- ③ <コントロールパネルの表示>
[スタート] メニューより、[コントロールパネル] をクリックします。



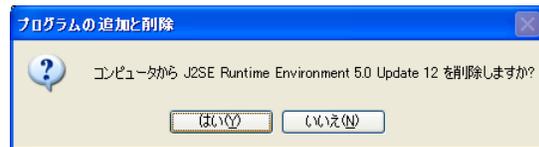
- ④ <アプリケーションの追加と削除>
「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。



- ⑤ <アンインストール>
「プログラムの追加と削除」画面から
「Java 2 Runtime Environment5.0
Update12」を選択して、「削除」ボタン
をクリックします。



- ⑥ <アンインストールの確認>
「削除の確認」画面が表示されます。
画面の注意事項を十分に確認して、
「はい(Y)」ボタンをクリックします。



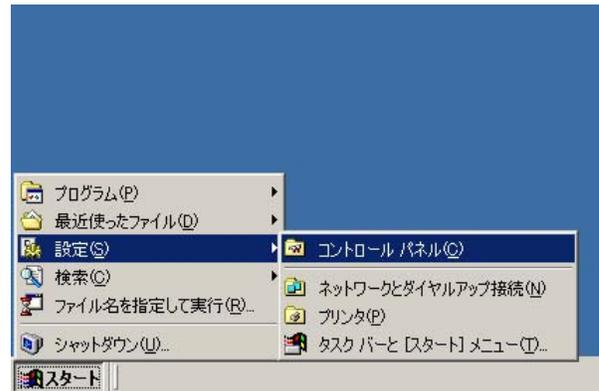
- ⑦ <アンインストールの実行>
Java2 Runtime Edition1.4.2_16 のア
ンインストールが実行されます。



- ⑧ <アンインストールの実行>
アンインストールの完了後、
「Java 2 Runtime Environment5.0 Update12」
画面が自動的に閉じられます。
アンインストールは完了しました。

(2) **Java2 Runtime Edition1.4.2_03 及び 1.4.2_08 及び 1.4.2_15 のアンインストール**
 ※下記手順の画面は 1.4.2_03 を採用しています。1.4.2_08 及び 1.4.2_15 をアンインストールする方は 1.4.2_08、1.4.2_15 としてマニュアルをお読み下さい。

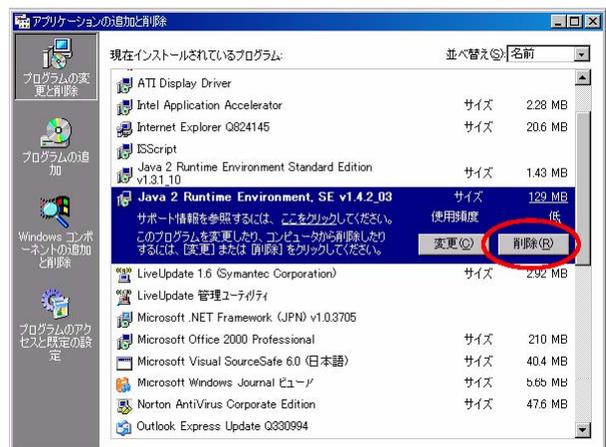
- ① <コントロールパネルの表示>
 [スタート] メニューより、[設定] – [コントロールパネル] をクリックします。



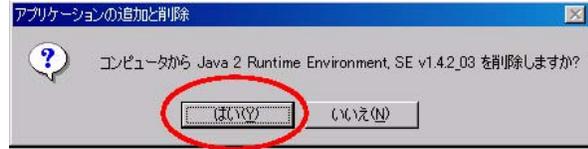
- ② <アプリケーションの追加と削除>
 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。



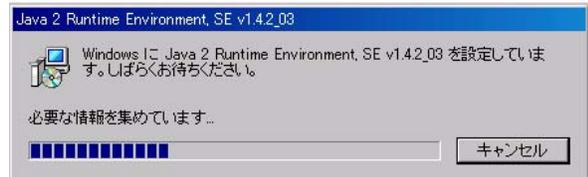
- ③ <アンインストール>
 「アプリケーションの追加と削除」画面から「Java 2 Runtime Environment, SE v1.4.2_03」を選択して、**削除** ボタンをクリックします。



- ④ <アンインストールの確認>
「削除の確認」画面が表示されます。
画面の注意事項を十分に確認して、
はい(Y)ボタンをクリックします。



- ⑤ <アンインストールの実行>
Java2 Runtime Edition1.4.2_03
のアンインストールが実行されま
す。

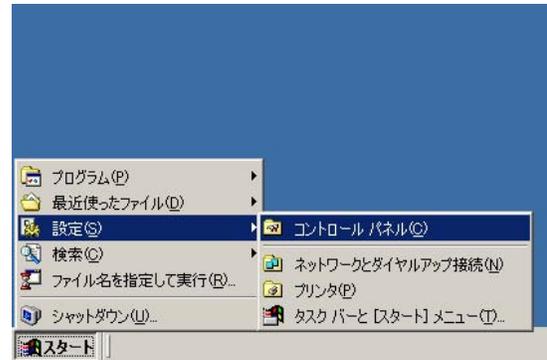


- ⑥ <アンインストールの完了>
アンインストールの完了後、
「Java 2 Runtime Environment,
SE v1.4.2_03 」画面が自動的に閉
じられます。
アンインストールは完了しました。

(3) Java2 Runtime Edition 1.3.1_10 及び 1.3.1_16 のアンインストール

※下記手順の画面は 1.3.1_16 を採用しています。1.3.1_10 をアンインストールする方は 1.3.1_10 としてマニュアルをお読み下さい。

- ① <コントロールパネルの表示>
[スタート] メニューより、[設定] - [コントロールパネル] をクリックします。



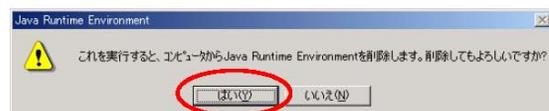
- ② <アプリケーションの追加と削除>
「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。



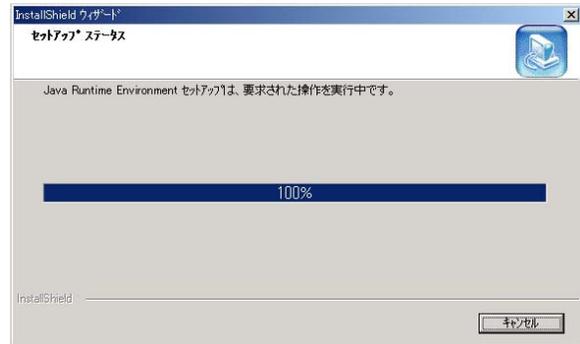
- ③ <アンインストール>
「アプリケーションの追加と削除」画面から「Java 2 Runtime Environment, Standard Edition v1.3.1_16」を選択して、**変更と削除(R)** ボタンをクリックします



- ④ <アンインストールの確認>
「削除の確認」画面が表示されます。画面の注意事項を十分に確認して、**はい(Y)** ボタンをクリックします。



- ⑤ <アンインストールの実行>
Java2 Runtime Edition1.3.1_16 の
アンインストールが実行されます。



- ⑥ <アンインストールの完了>
アンインストールが完了しました。
OK ボタンをクリックして画面を
閉じます。



10 問い合わせ先

- ・システム操作に関するご不明な点やお問い合わせ等ございましたら、まず、PR ページの「よくある質問と回答」のページをご参照ください。
- ・サイト上でお求めの情報が見つからない場合は、「特車運用事務局」までお電話もしくはメールにてお問い合わせください。

※Microsoft Windows 2000、XP、もしくは Vista、以外をご利用の場合は、特殊車両オンラインシステム PR ページをご参照ください。

お問い合わせ

■ お問い合わせ先および方法について

①まず、「よくある質問」のページをご参照ください。

FAQ よくある質問のページ

②お求めの情報が見つからない場合は、下記お問い合わせ方法を参考の上、該当のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

- ◆ オンライン申請システムの操作方法に関するお問い合わせは、

特車運用事務局へ:  info@tokusya.net

TEL 048-601-3223

電話に関する留意事項

- ◆ オンライン申請システムに関するご意見、ご要望は、メールにて

特車運用事務局へ:  info@tokusya.net

- ◆ 申請の手続きに関するご質問は、

(財)日本道路交通情報センター

TEL 03-3261-7620

- ◆ 制度に関するご質問は、

最寄りの申請事務取扱窓口

■ 「特車運用事務局」でのお問い合わせ方法を、下記にご案内します。

特車運用事務局では、オンライン申請システムの操作方法に関するお問い合わせに対応させて頂いております。お問い合わせには順次対応しておりますが、混雑時はお待ちさせる場合もございますので、予めご了承願います。

平成18年7月31日(月)より、電話によるお問い合わせを試行開始いたします。お問い合わせが混雑しておりますと、つながりにくい場合も予想されます。メールによるお問い合わせも継続しておりますので、合わせてご利用ください。

電話受付時間： 開庁日 9:15～18:00（12:00～13:00を除く）

- 「操作方法に不明な点等」がある場合のお問い合わせ時には、下記内容をご用意ください。
 - ・ 申請者ID
 - ・ 法人名および申請者名
 - ・ OS(Windows2000、WindowsXP等)
 - ・ IE(ブラウザ)のバージョン
 - ・ エラーメッセージ等は、そのメッセージ文もしくは画面コピー
 - ・ どのような場面で、どのような操作を行ったのか
- 「よく分からない現象が発生した」場合のお問い合わせ時には、下記内容をご用意ください。
 - ・ どのような現象が起きたのか
 - ・ どの画面で、操作を行ったのか
 - ・ 現象が発生した時、画面の表示内容はどうなったのか
 - ・ 画面のキャプチャ

上記項目を具体的にお知らせ頂けると、比較的迅速な対応が可能となりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。